

履修要覧

2004

(平成16年度)

豊橋技術科学大学

平成 16 年度学年曆

| | |
|-------------------|-----------------------|
| 入 学 式 | 4月 6日 (火) |
| 大学院ガイダンス・留学生ガイダンス | 4月 6日 (火) |
| 学部ガイダンス（学生生活関係） | 4月 7日 (水) |
| 学部ガイダンス（教務関係） | 4月 8日 (木) |
| 第1年次学外オリエンテーション | 4月 9日 (金) |
| 第1学期授業開始 | 4月 12日 (月) |
| 第1学期定期試験 | 6月 22日 (火)～30日 (水) |
| 夏 期 休 業 | 7月 1日 (木)～8月 31日 (火) |
| 第2学期授業開始 | 9月 1日 (水) |
| 開 学 記 念 日 | 10月 1日 (金) 休講 |
| 科 科 大 祭 | 10月 10日 (日)～11日 (月) |
| 第2学期定期試験 | 11月 16日 (火)～25日 (木) |
| 秋 期 休 業 | 11月 26日 (金)～30日 (火) |
| 第3学期授業開始 | 12月 1日 (水) |
| 冬 期 休 業 | 12月 25日 (土)～1月 7日 (金) |
| 第3学期定期試験 | 2月 23日 (水)～3月 3日 (木) |
| 大学院修了式・学部卒業式 | 3月 22日 (火) |
| 春 期 休 業 | 3月 25日 (金)～4月 3日 (日) |

履修登録関係日程

| | |
|------------------|----------------------|
| 受講科目履修登録表提出 | 4月 16日 (金), 19日 (月) |
| 履修登録確認表配付 | 4月 26日 (月)～27日 (火) |
| 単位修得表配付（第1学期） | 8月 31日 (火)～9月 1日 (水) |
| 第2学期以降の履修登録科目の変更 | 9月 8日 (水)～9日 (木) |
| 単位修得表配付（第2学期） | 12月 9日 (木)～10日 (金) |
| 第3学期の履修登録科目の変更 | 12月 13日 (月)～14日 (火) |
| 単位修得表配付（第3学期） | 掲示にて通知 |

目 次

教育の理念と特色

| | |
|---------------|---|
| 1 基本理念 | 1 |
| 2 本学の特色 | 1 |

工 学 部

| | |
|--------------------------------|----|
| I 各課程の学習・教育目標 | 5 |
| II 卒業要件等 | |
| 1 第1年次入学者 | |
| (1) 卒業要件及び履修基準 | 15 |
| (2) 科目修得基準 | 16 |
| 2 第3年次編入学者 | |
| 卒業要件及び履修基準 | 19 |
| III 履修方法・試験・在学年限等 | |
| 1 履修方法 | 20 |
| 2 試験 | 22 |
| 3 在学年限等 | 23 |
| 4 日本技術者教育認定機構（JABEE）対応課程 | 24 |
| 5 各種資格の認定 | 24 |
| IV 教育課程 | |
| 1 授業科目・単位等 | 25 |
| 2 一般基礎科目 | |
| (1) 一般基礎科目について | 26 |
| (2) 第1年次入学者 | 27 |
| (3) 第3年次編入学者及び進級者 | 30 |
| 3 専門科目 | 32 |

工学研究科修士課程

| | |
|------------------|----|
| I 修了要件等 | |
| 1 修了要件 | 51 |
| 2 学位の申請 | 51 |
| II 履修方法・試験・在学年限等 | |
| 1 履修方法 | 52 |
| 2 試験 | 52 |
| 3 在学年限 | 53 |
| 4 休学 | 53 |

| | |
|-----------------|----|
| III 教育課程 | |
| 1 授業科目・単位等 | 54 |
| 2 共通科目 | 55 |
| 3 専攻科目 | 57 |

工学研究科博士後期課程

| | |
|-------------------------|----|
| I 修了要件等 | |
| 1 修了要件 | 67 |
| 2 学位の申請 | 67 |
| II 履修方法・試験・在学年限等 | |
| 1 履修方法 | 68 |
| 2 試験 | 68 |
| 3 在学年限 | 68 |
| 4 休学 | 68 |
| III 教育課程 | |
| 1 授業科目・単位等 | 69 |
| 2 専攻科目 | 70 |

(別添資料)

- 工学部教育課程及び履修方法等に関する規程
- 実務訓練の履修に関する規程
- 大学院教育課程及び履修方法等に関する規程
- 学位規程
- 修士の学位審査取扱細則
- 博士の学位審査取扱細則
- 他の大学・短期大学又は高等専門学校との単位互換協定に基づき
修得した単位の認定等に関する申合せ
- 他の大学院との単位互換協定に基づき修得した単位の認定等に関
する申合せ

教育の理念と特色

1 基本理念

本学は、豊かな人間性の開花、自然との共生、国際協調的な社会の実現に、技術科学の領域で創造的かつ実践的に貢献できる指導的な技術者・研究者を育成することを、その使命としています。

そのため、本学は大学院に重点を置き、透徹した物を見る眼、繊細で温かみのある感性、多元的な思考能力、グローバルな視野を培う教育を推し進めるとともに、人類の一層の発展を展望しながら、技術・科学の新しい地平を切り拓くことを目指して研究に取り組みます。

2 本学の特色

<学部課程から大学院修士課程までの一貫教育>

実践的・創造的な能力を備えた指導的技術者の育成を行うため、学部から大学院修士課程まで同一定員幅の一貫した高度な教育を行っています。

<学際的な課程編成と研究活動>

社会の新しい要請に柔軟に対応しうるよう、従来の学科別編成とは異なった学際的な課程編成によって教育研究を行っています。

<新しい構想による大学院博士課程>

各専門分野を複合した学際的な博士後期課程を編成して、先端科学を追求するとともに、産業界や社会のニーズに適応した教育研究を行っています。

<多様な入学制度>

高等専門学校卒業生を第3年次に、高等学校（普通学校、工業高校）卒業生を第1年次に受け入れ、入学者選考にはそれぞれ推薦入学制度を大幅に採用しています。

また、学習歴の異なる入学生に見合ったカリキュラムを用意しています。

<密度の高い少人数教育>

教員定員が大学院教育に合わせて配置されているので、一教員あたりの学生定員は他大学に比べてかなり少なく、充実した少人数教育が行われています。

<幅広い教育課程の編成>

専門教育と並行して、管理科学、計画経営学に関する分野を充実させ、高度な専門知識とともに、総合的判断力、管理能力の養成を図っています。

<正課としての実務訓練>

産業界における実務を体験することにより、社会との密接な接触を通じて、指導的技術者として必要な人間性の陶冶を図り、実践的技術感覚を養います。

<活発な国際交流>

世界の技術科学の進展動向を導入するため、研究、教育両面において国際交流を活発に進めており、外国人教員数や留学生数の割合は全国トップレベルです。

<多様な产学交流と地域社会との協力>

学外機関との交流、民間企業等との共同研究あるいは地域社会との協力事業を推進するとともに、産業

界から客員教員を招へいし、職業人に対してはリフレッシュ教育（特別選抜による受入れ、履修方法等の特例、各種公開講座の開設等）を充実するなど、開かれた大学としての活動を積極的に行ってています。

工 学 部

I 各課程の学習・教育目標

機械システム工学課程 学習・教育目標

本課程においては以下の知識および能力を育成することを目標とする。

(A) 幅広い人間性と考え方

本課程で設定された一般基礎Ⅱの科目を習得することにより、人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

(B) 技術者としての正しい倫理観と社会性

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、一般基礎Ⅳの科目を習得することにより、技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し、社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力

(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

本課程で設定された数学・自然科学・情報技術分野の科目を習得することにより、科学技術に関する基礎知識を獲得し、それらを活用できる能力

(D) 技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実行力

機械工学および機械工学関連分野の専門技術に関する知識を獲得し、それらをものづくりと問題解決に応用できる実践的・創造的能力

(D1) 本課程で設定された専門Ⅱの科目を習得することにより、流体力学、熱力学、固体力学の力学関連分野や計測・制御工学および機械工学関連分野の基礎を理解し、機械システムの設計、製作、性能評価、利用に応用できる能力

(D2) 本課程で設定された「機械システム工学実験」を習得することにより、実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、技術科学的な視点から考察し、説明する能力

(D3) 本課程で設定された「特別研究」、「実務訓練」を習得することにより、技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し、諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力

(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

本課程で設定された一般基礎Ⅲ、「特別研究」、「実務訓練」の科目を習得することにより、論文、口頭および情報メディアを通じて、自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し、コミュニケーションする能力

(F) 最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、「特別研究」、「実務訓練」の科目を習得することにより、社会、環境、技術等の変化に対応して、生涯にわたって自発的に学習する能力

生産システム工学課程 学習・教育目標

本課程においては以下の知識および能力を育成することを目標とする。

(A) 幅広い人間性と考え方

本課程で設定された一般基礎Ⅱの科目を習得することにより、人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

(B) 技術者としての正しい倫理観と社会性

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、一般基礎Ⅳの科目を習得することにより、技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し、社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力

(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

本課程で設定された数学・自然科学・情報技術分野の科目を習得することにより、科学技術に関する基礎知識を獲得し、それらを活用できる能力

(D) 技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実行力

機械工学を基礎とするものづくりの専門技術に関する知識を獲得し、それらを問題解決に応用できる能力とものづくりの実践的・創造的能力

(D1) 本課程で設定された「機械工学基礎」、「材料工学」、「生産加工学」、「システム工学」、「応用機械工学」分野の科目を習得することにより、専門的技術を駆使して課題を探求し、組み立て、解決する能力

(D2) 本課程で設定された「生産システム工学基礎実験」、「生産システム工学創造実験」を習得することにより、実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、技術科学的な視点から考察し、説明する能力

(D3) 本課程で設定された「生産システム工学研究法基礎」、「生産システム工学卒業研究」、「実務訓練」を習得することにより、技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し、諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力

(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

本課程で設定された一般基礎Ⅲ、「生産システム工学研究法基礎」、「生産システム工学卒業研究」、「実務訓練」の科目を習得することにより、論文、口頭および情報メディアを通じて、自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し、コミュニケーションする能力

(F) 最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、「生産システム工学研究法基礎」、「生産システム工学卒業研究」、「実務訓練」の科目を習得することにより、社会、環境、技術などの変化に対応して、生涯にわたって自発的に学習する能力

電気・電子工学課程 学習・教育目標

本課程においては以下の知識および能力を育成することを目標とする。

(A) 幅広い人間性と考え方

本課程で設定された一般基礎Ⅱの講義科目を習得することにより、人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

(B) 技術者としての正しい倫理観と社会性

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、一般基礎Ⅳ、「電気・電子工学実験Ⅱ」の科目を習得することにより、技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し、社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力

(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

本課程で設定された数学・自然科学・情報技術分野（専門ⅡA）の講義科目を習得することにより、数理法則と物理原理に関する理論的知識を獲得し、それらを活用できる能力

(D) 技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実行力

電気・電子・情報通信および関連分野の専門技術に関する知識を獲得し、それらをものづくりと問題解決に応用できる実践的・創造的能力

(D1) 本課程で設定された「電気・電子工学実験Ⅰ」、「電気・電子工学実験Ⅱ」を習得することにより、実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、技術科学的な視点から考察し、かつ説明する能力

(D2) 本課程で設定された専門ⅡBの講義科目を習得することにより、専門的技術を駆使して課題を探求し、組み立て、解決する能力

(D3) 本課程で設定された「特別実験」、「実務訓練」を習得することにより、技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し、諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力

(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

本課程で設定された一般基礎Ⅲ、「特別実験」、「実務訓練」の科目を習得することにより、論文、口頭および情報メディアを通じて、自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し、コミュニケーションする能力

(F) 最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、「特別実験」、「実務訓練」の科目を習得することにより、社会、環境、技術などの変化に対応して、生涯にわたって自発的に学習する能力

情報工学課程 学習・教育目標

本課程においては以下の知識および能力を育成することを目標とする。

(A) 幅広い人間性と考え方

本課程で設定された一般基礎Ⅱの科目を習得することにより、人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

(B) 技術者としての正しい倫理観と社会性

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、一般基礎Ⅳ、「情報工学実験Ⅱ」の科目を習得することにより、技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し、社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力

(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

本課程で設定された数学・自然科学・情報技術分野（専門ⅡA）の科目を習得することにより、数理法則と計算原理・プログラミングに関する理論的・基礎的知識を獲得し、それらを活用できる能力

(D) 技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実行力

情報および情報関連分野の専門技術に関する知識を獲得し、それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

(D1) 本課程で設定された「情報工学実験Ⅰ」、「情報工学実験Ⅱ」を習得することにより、問題を分析し、解決手順を設計し、ハードウエア・ソフトウエアとして実現する能力

(D2) 本課程で設定された専門ⅡBの科目を習得することにより、次の3分野の基礎を理解し、情報工学分野において多角的な応用と問題解決ができる能力

(i) 新しい計算手段・計算機構を生み出す計算メカニズム

(ii) 多様な情報から新しい価値を生み出す情報処理メカニズム

(iii) 情報ネットワーク社会を構築する情報通信メカニズム

(D3) 本課程で設定された「特別実験」、「実務訓練」を習得することにより、技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し、諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力

(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

本課程で設定された一般基礎Ⅲ、「特別実験」、「実務訓練」の科目を習得することにより、論文、口頭および情報メディアを通じて、自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し、コミュニケーションする能力

(F) 最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、「特別実験」、「実務訓練」の科目を習得することにより、社会、環境、技術などの変化に対応して、生涯にわたって自発的に学習する能力

物質工学課程 学習・教育目標

本課程においては以下の知識および能力を育成することを目標とする。

(A) 幅広い人間性と考え方

本課程で設定された一般基礎Ⅱの科目を習得することにより、人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、人間と自然との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

(B) 技術者としての正しい倫理観と社会性

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、一般基礎Ⅳの科目を習得することにより、技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し、社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力

(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

本課程で設定された数学・自然科学・情報技術分野の科目を習得することにより、科学技術に関する基礎知識を獲得し、それらを活用できる能力

(D) 技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実行力

化学および化学関連分野の専門技術に関する知識を獲得し、それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

(D1) 本課程で設定された化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより知識を獲得し、それらを駆使して問題を解決する基礎的能力

(D2) 本課程で設定された化学工学関連の科目を習得することにより、化学工学量論、熱力学、移動現象論などの専門基礎知識を獲得し、それらを駆使して問題を解決する能力

(D3) 本課程で設定された「無機化学」「有機化学」「分析化学」「物理化学」「生化学」を基本科目とする専門Ⅱの科目を習得することにより、物質を原子・分子レベルで理解し、物質を解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し、それらを駆使して課題を探求し、組み立て、解決する能力

(D4) 本課程で設定された「物質工学卒業研究Ⅰ、Ⅱ」、「実務訓練」を習得することにより、技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し、諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力

(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

本課程で設定された一般基礎Ⅲ、「物質工学卒業研究Ⅰ、Ⅱ」、「実務訓練」の科目を習得することにより、論文、口頭および情報メディアを通じて、自分の論点や考え方などを国内外において効果的に表現し、コミュニケーションする能力

(F) 最新的技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、「物質工学卒業研究Ⅰ、Ⅱ」、「実務訓練」の科目を習得することにより、社会、環境、技術等の変化に対応して、生涯にわたって自発的に学習する能力

建設工学課程（建築コース） 学習・教育目標

本コースにおいては、以下の知識および能力を育成することを目標とする。

（A）幅広い人間性と考え方

本コースで設定された一般基礎Ⅱの科目を習得することにより、人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

（B）技術者としての正しい倫理観と社会性

本コースで設定された一般基礎Ⅱ、一般基礎Ⅳの科目を習得することにより、技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し、社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

本コースで設定された数学・自然科学・情報技術の分野を習得することにより、科学技術に関する基礎知識を獲得し、それらを活用できる能力

（D）技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実行力

建築分野の専門技術に関する知識を習得し、それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

① 本コースで設定された建設工学の基本となる構造・環境・計画の共通的な講義科目・演習科目を習得することにより、建設技術に関する論理的知識を獲得し、それらを活用できる能力

② 本コースで設定された建設工学の専門性の高い講義科目・演習科目を習得することにより、高度な専門的技術を身につけ、それを問題解決に応用する能力

③ 本コースで設定された「建設設計演習」、「空間情報設計演習」、「建設工学実験」の科目を習得することにより、専門的技術を総合的に用いて課題を探求し、創造性、記述力、発表力、コミュニケーション力を発揮して、その課題を解決する能力

④ 本コースで設定された「建設工学特別演習」、「実務訓練」を習得・体得することにより、実際上の諸問題を探求し、社会の要求する課題を与えられた条件下で工学的に解決するための具体的な技術（企画・設計・生産・管理等）、デザイン力、調整力、協調性など、仕事をまとめ上げる実実行力

（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

本コースで設定された一般基礎Ⅲ、「建設工学特別演習」、「実務訓練」の科目を習得することにより、論文、口頭および情報メディアを通じて、自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し、議論や交渉などのコミュニケーションする能力

（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力

本コースで設定された一般基礎Ⅲ、「建設工学特別演習」、「実務訓練」の科目を習得することにより、社会、環境、技術等の変化に対応して、生涯にわたって自発的に学習する能力

建設工学課程（社会基盤コース） 学習・教育目標

本コースにおいては以下の知識および能力を育成することを目標とする。

（A）幅広い人間性と考え方

本コースで設定された一般基礎Ⅱの科目を習得することにより、人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

（B）技術者としての正しい倫理観と社会性

本コースで設定された一般基礎Ⅱ、一般基礎Ⅳの科目を習得することにより、技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し、社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

本コースで設定された数学・自然科学・情報技術分野の講義科目を習得することにより、科学技術に関する基礎知識を獲得し、それらを活用できる能力

（D）技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実行力

社会基盤分野の専門技術に関する知識を獲得し、それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

(D1) 本コースで設定された建設工学の基本となる構造・環境・計画の3分野の専門Ⅰ及び専門Ⅱの講義科目を習得することにより、社会基盤分野のみならず、関連する都市・地域・建築分野における基礎的かつ高度な専門的技術を身につけ、それらを社会基盤分野にかかわる問題の理解や解決に応用する能力

(D2) 本コースで設定された「建設工学実験」、「測量学Ⅱ・同演習」を習得することにより、実験・観測を計画・遂行し、データを正確に解析し、技術科学的な視点から考察し、説明する能力

(D3) 本コースで設定された演習科目を習得することにより、自己学習の習慣を身につけ、問題の解決策を創造する能力、および問題を解決する能力

(D4) 本コースで設定された「建設設計演習」、「空間情報設計演習」、「建設工学特別演習」を習得することにより、社会基盤分野の専門的技術を総合的に用いて、創造性を発揮して課題を探求し、組み立て、解決する能力

(D5) 本コースで設定された「建設工学特別演習」、「実務訓練」を習得することにより、技術者が経験する社会基盤にかかわる実際上の問題点と課題を理解し、諸問題の工学的な解決を行うための創造的なデザイン力と計画技術を用いて与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力

（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

本コースで設定された一般基礎Ⅲ、「建設工学特別演習」、「実務訓練」の科目を習得することにより、論文、口頭および情報メディアを通じて、自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し、コミュニケーションする能力

（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力

本コースで設定された一般基礎Ⅱ、「建設工学特別演習」、「実務訓練」の科目を習得することにより、社会、環境、技術等の変化に対応して、生涯にわたって自発的に学習する能力

知識情報工学課程 学習・教育目標

本課程においては、以下の知識および能力を育成することを目標とする。

(A) 幅広い人間性と考え方

本課程で設定された一般基礎Ⅱの科目を習得することにより、人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

(B) 技術者としての正しい倫理観と社会性

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、一般基礎Ⅳの科目を習得することにより、技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し、社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力

(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

本課程で設定された数学・自然科学・情報技術分野の科目を習得することにより、科学技術に関する理論的、基礎的知識を獲得し、それらを活用できる能力

(D) 技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実行力

情報および情報関連分野を基礎とするソフトウェアの専門技術に関する知識を獲得し、それらを様々な分野における問題解決に応用できる実践的・創造的能力

(D1) 本課程で設定された情報専門分野、および、「知能情報学」、「マルチメディア情報工学」、「生体情報工学」、「分子情報工学」、「分子設計工学」等の応用分野の科目を習得することにより、専門的技術を駆使して課題を探求し、組み立て、解決する能力

(D2) 本課程で設定された「知識情報工学実験」、「プログラミング」を習得することにより、実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、技術科学的な視点から考察し、説明する能力、および、様々な分野におけるソフトウェアを設計、開発し、評価する能力

(D3) 本課程で設定された「特別研究」、「実務訓練」を習得することにより、技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し、諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン力と与えられた制約の下で、計画的に仕事を進め、まとめあげる実行力

(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

本課程で設定された一般基礎Ⅲ、「特別研究」、「実務訓練」の科目を習得することにより、論文、口頭および情報メディアを通じて、自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し、コミュニケーションする能力

(F) 最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、「特別研究」、「実務訓練」の科目を習得することにより、社会、環境、技術などの変化に対応して、生涯にわたって自発的に学習する能力

エコロジー工学課程 学習・教育目標

本課程においては以下の知識および能力を育成することを目標とする。

(A) 幅広い人間性と考え方

本課程で設定された一般基礎Ⅱの科目を習得することにより、人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、人間と自然との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

(B) 技術者としての正しい倫理観と社会性

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、一般基礎Ⅳの科目を習得することにより、技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し、社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力

(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

本課程で設定された数学・自然科学・情報技術分野の講義科目を習得することにより、科学技術に関する基礎知識を獲得し、それらを活用できる能力

(D) 技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実行力

エコロジー工学およびエコロジー工学関連分野の専門技術に関する知識を獲得し、それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

(D1) 本課程で設定された数学、物理、化学、生物を基本科目とする専門IIの科目を習得することにより、物質生産および廃棄物処理プロセスを総合的に理解し、物質を解析・変換・評価できる科学技術の知識を獲得し、それらを駆使して課題を探求し、組み立て、解決する能力

(D2) 本課程で設定された「エコロジー工学実験」を習得することにより、実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、技術科学的視点から考察し、説明する能力

(D3) 本課程で設定された「エコロジー工学特別演習」、「エコロジー工学卒業研究」、「実務訓練」を習得することにより、技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し、諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力

(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

本課程で設定された一般基礎Ⅲ、「エコロジー工学特別演習」、「エコロジー工学英語Ⅲ」、「エコロジー工学卒業研究」、「実務訓練」の科目を習得することにより、論文、口頭および情報メディアを通じて、国内外において効果的に表現し、コミュニケーションする能力

(F) 最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力

本課程で設定された一般基礎Ⅱ、「エコロジー工学特別演習」、「エコロジー工学卒業研究」、「実務訓練」の科目を習得することにより、社会、環境、技術などの変化に対応して、生涯にわたって自発的に学習する能力

II 卒業要件等

1 第1年次入学者

(1) 卒業要件及び履修基準

学部卒業に必要な最低修得単位数等については、以下のとおり定めている。

| 区分 | 単位数 | 履修基準 | |
|--------|-------|---|--|
| 一般基礎科目 | 一般基礎Ⅰ | (1) 数学Ⅰ、数学Ⅱ、物理学Ⅰ及び化学Ⅰを修得しなければならない。 (2) さらに、課程ごとに指定された次の授業科目を修得しなければならない。 <機械システム工学課程> 物理実験、数学ⅢA 及び数学ⅢB <生産システム工学課程> 物理実験、化学実験、物理学Ⅱ及び数学ⅢB <電気・電子工学課程> 物理実験 <情報工学課程> 物理実験又は化学実験 <物質工学課程> 物理実験又は化学実験 <建設工学課程> 物理実験又は化学実験 <知識情報工学課程> 指定科目なし <エコロジー工学課程> 物理実験又は化学実験 | |
| | 一般基礎Ⅱ | | |
| | 一般基礎Ⅲ | | |
| | 一般基礎Ⅳ | | |
| 小計 | | 50 | |
| 専門科目 | 専門Ⅰ | (1) 卒業要件にかかる単位修得方法等の詳細について、は、各課程の基準による。 (2) 選択必修科目において、3分野からそれぞれ0.5単位、合計1.5単位を修得すること。 (3) 原則として、教育課程及び授業時間割に基づき当該年次に開講される科目を履修しなければならない。 所属課程の上級年次の科目を履修する場合はクラス担任(又は指導教員)の許可を受けた上、授業担当教員の許可を必要とする。 (3) 他課程開講科目(実験・実習科目を除く。)を履修できるが、履修にあたってはクラス担任(又は指導教員)の許可を受けた上、授業担当教員の許可を必要とする。 | |
| | | | |
| 小計 | | 80 | |
| 合計 | | 130 | |

○ 各課程の卒業要件は、JABEE基準に対応している。(24頁参照)

(2) 科目修得基準

第2年次末において、修得した科目及び単位数が以下に掲げる各課程の修得基準に達しない場合は、第3年次へ進級することができない。

①機械システム工学課程

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|--------------------------------|------------------------------|---------|----|
| 一般基礎 I | 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 物理学Ⅰ, 化学Ⅰ, 物理実験 | 11 | |
| 一般基礎 II 一般基礎 III 一般基礎 IV | 上記以外の一般基礎科目の内 | 9 | |
| 専門 I | 必修科目 選択Ⅰ・選択Ⅱの内 | 8 16 | |
| 合 計 | | 44 | |

②生産システム工学課程

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|--|-------------------|---------|----|
| 一般基礎 I 一般基礎 II 一般基礎 III 一般基礎 IV | 一般基礎科目の開講科目の内 | 20 | |
| 専門 I | 必修科目 選択Ⅰ・選択Ⅱの内 | 8 16 | |
| 合 計 | | 44 | |

③電気・電子工学課程

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|--|--------------------------------------|--------------|----|
| 一般基礎 I 一般基礎 II 一般基礎 III 一般基礎 IV | 一般基礎科目の開講科目の内 | 20 | |
| 専門 I | 電気・電子工学基礎実験 上記以外の必修科目の内 選択科目の内 | 3 13 7 | |
| 合 計 | | 43 | |

④情報工学課程

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|----------------------------------|-----------------------------------|--------------|----|
| 一般基礎Ⅰ 一般基礎Ⅱ 一般基礎Ⅲ 一般基礎Ⅳ | 一般基礎科目の開講科目の内 | 20 | |
| 専門Ⅰ | 情報工学基礎実験 上記以外の必修科目の内 選択科目の内 | 3 13 7 | |
| 合 | 計 | 43 | |

⑤物質工学課程

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|----------------------------------|------------------------------|---------|----|
| 一般基礎Ⅰ 一般基礎Ⅱ 一般基礎Ⅲ 一般基礎Ⅳ | 一般基礎科目の開講科目の内 | 20 | |
| 専門Ⅰ | 物質工学基礎実験Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ 上記以外の必修科目の内 | 6 14 | |
| 合 | 計 | 40 | |

⑥建設工学課程

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|----------------------------------|------------------------------------|---------|----|
| 一般基礎Ⅰ 一般基礎Ⅱ 一般基礎Ⅲ 一般基礎Ⅳ | 一般基礎科目の開講科目の内 | 20 | |
| 専門Ⅰ | 建設設計演習Ⅰ 上記以外の必修科目及び 選択必修科目の内 | 3 14 | |
| 合 | 計 | 37 | |

⑦知識情報工学課程

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|----------------------------------|----------------|---------|----|
| 一般基礎Ⅰ 一般基礎Ⅱ 一般基礎Ⅲ 一般基礎Ⅳ | 一般基礎科目の開講科目の内 | 20 | |
| 専門I | 必修科目 選択科目の内 | 14 8 | |
| 合 | 計 | 42 | |

⑧エコロジー工学課程

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
|----------------------------------|------------------|---------|----|
| 一般基礎Ⅰ 一般基礎Ⅱ 一般基礎Ⅲ 一般基礎Ⅳ | 一般基礎科目の開講科目の内 | 20 | |
| 専門I | 必修科目の内 選択科目の内 | 7 13 | |
| 合 | 計 | 40 | |

2 第3年次編入学者

卒業要件及び履修基準

学部卒業に必要な最低修得単位数等については、以下のとおり定めている。

| 区分 | | 単位数 | 履修基準 |
|--------|-------|-----|---|
| 一般基礎科目 | 一般基礎Ⅱ | 8 | (1) 選択Ⅰの中から1科目以上修得しなければならない。 (2) 選択Ⅲは、外国人留学生のみ修得することができる。ただし、修得した単位の内4単位を限度として卒業要件単位に算入できる。 (3) 授業科目の単位認定は、原則として学期制とする。 |
| | 一般基礎Ⅲ | 4 | (1) 英語を2単位以上修得しなければならない。 (2) 上記の他、英語、ドイツ語、フランス語及び中国語の中から一つの外国語を選択し、2単位を修得しなければならない。 (3) 第1年次及び第2年次に開講されている授業科目は履修できるが、修得した単位は卒業要件単位に算入しない。 |
| | 一般基礎Ⅳ | 3 | (1) 技術者倫理を修得しなければならない。 (2) 選択Ⅱの中から2科目以上2単位以上を修得しなければならない。 |
| 小計 | | 15 | |
| 専門科目 | | | (1) 卒業要件にかかる単位修得方法等の詳細については、各課程の基準による。 (2) 原則として、教育課程及び授業時間割に基づき当該年次に開講される科目を履修しなければならない。 所属課程の上級年次の科目を履修する場合はクラス担任（又は指導教員）の許可を受けたうえ、授業担当教員の許可を必要とする。 |
| | 専門Ⅱ | 50 | (3) 他課程開講科目（実験・実習科目を除く。）を履修できるが、履修にあたってはクラス担任（又は指導教員）の許可を受けた上、授業担当教員の許可を必要とする。 |
| 合計 | | 65 | |

○ 各課程の卒業要件は、JABEE基準に対応している。（24頁参照）

III 履修方法・試験・在学年限等

1 履修方法

授業科目は、在学年次及び在学課程の教育課程に従って履修すること。

なお、第1年次入学者が第3年次進級後に履修する授業科目及びその単位数は、**第3年次進級時における当該課程の教育課程に従うこと。**（「IV 教育課程」参照）

(1) 履修計画

履修計画は、本書をよく読み、年度始めに行われるガイダンスや教員の指導・助言をもとに、授業時間割表により余裕をもって立てること。

なお、選択科目は、都合により開講されない場合があるので、十分注意すること。

1 授業時間割表については、各学年の始めに配付する。

なお、集中講義科目については開講時期等が決定次第、掲示等により通知する。

2 履修に関する連絡は、学年の始め及び学期の始めに集中するので、見落とさないように注意すること。

(2) 履修登録

履修しようとする授業科目は、「受講科目履修登録表」により、学年の始めの所定の期日までに開講時期等が未確定の集中講義科目を含めてすべて履修登録しなければならない。

履修登録していない授業科目の単位認定は、一切認められない。

なお、各学期の始めの履修登録変更期間に、その学期以降の授業科目について履修変更ができる。

1 他課程又は上級年次の授業科目を履修しようとする場合は、「他課程（専攻）科目受講許可願」又は「上級年次科目履修許可願」によりクラス担任（又は指導教員）及び授業担当教員の許可を受けた上で履修登録すること。

2 履修登録したにもかかわらず、授業や試験を受けない場合は、その授業科目は不合格とする。

ただし、履修登録の取り消しをした場合はこの限りでない。

3 単位を修得した授業科目は、再度履修登録できない。

4 同一時間に開講される授業科目は、重複して履修できない。重複して履修登録した場合、両方の科目が登録されないので注意すること。ただし、試験等による再履修科目及び集中講義科目については、この限りでない。

(3) 履修登録の確認及び訂正

履修登録の確認は、「履修登録確認表」（年度初めに各自に一度しか配付しない）により行うこと。記載された内容に間違いがある場合は、1学期の履修登録変更期間に訂正の手続きを必ず行うこと。

(4) 再履修

定期試験等で不合格となった授業科目のうち、修得を必要とする授業科目は、原則として次年度に再履修すること。（英語についても当該クラスを再履修すること）
なお、再履修しようとする授業科目についても、履修登録すること。

(5) 試験等による再履修

再履修の場合で、授業科目担当教員が、試験等により単位認定すると認めた場合に限り、「試験等による再履修願」により授業科目担当教員の許可を受けた上で履修登録すること。

(6) 実務訓練の履修

各課程とも、実務訓練6単位（専門Ⅱ）の履修が必要である。

この科目については、第4年次学生を対象に詳細なガイダンスが実施され、指導教員の助言のもとに履修方法を決定する。

入学した諸君が大学での勉学を始めるに当たって最初に必要となることは、履修要覧をよく理解し、授業時間割表を見て履修計画を立てることです。

本学の授業科目は、卒業要件等（「Ⅱ 卒業要件等」参照）にあるように、一般基礎科目と専門科目に分類されます。

一般基礎科目は、各課程に共通する学術の基礎となる授業科目であり、これらは今後大学で学修するに当たり基礎となるだけでなく、卒業後も社会人として、技術者として活躍するためには欠かせない基礎的素養となるものです。専門科目は、各工学課程の特色ある内容を学修しますが、一般基礎科目の内容を基本に学修が展開されることが多く、さらには専門Ⅰを学修したのち、これを基礎にして専門Ⅱを学修することになります。

各課程ごとの履修ガイダンス及びクラス担任（又は指導教員）の助言等を参考にして、授業科目の連続性等を考慮して適切な学修計画を立て、調和のとれた履修計画を立ててください。

2 試験

試験には、定期試験、追試験及び再試験がある。

(1) 定期試験

定期試験は、原則として各学期末に一定の期間を定めて実施する。ただし、授業科目担当教員が必要と認めた場合は、隨時に試験が行われる。

なお、定期試験の実施期間及び試験時間割等は、その都度掲示等で通知する。

(2) 追試験

ア 追試験は、学生が次の理由により、当該授業科目の定期試験を受けることができなかつた場合に限り、「追試験受験許可願」に授業科目担当教員等の許可を受けた上で、受験することができる。

① 病気（医師の診断書を添付）のとき

② 事故・災害（証明書を添付）及びその他（理由書を添付）正当と認められるとき

イ 「追試験受験許可願」は、定期試験最終日の翌日から数えて1週間以内に学務課へ提出しなければならない。

ウ 追試験を受験できなかつた場合、再度の追試験は実施しない。

(3) 再試験

再試験は、第4年次末定期試験等の結果、2科目5単位以内の不合格科目が合格することで卒業資格を得ることができる場合に限り、次の科目について再試験を受験することができる。

① 第3年次通年開講の専門科目（実験、実習科目を除く。）

② 第3年次第3学期開講の専門科目（実験、実習科目を除く。）

③ 第4年次開講の専門科目（実験、実習科目を除く。）

(4) 単位の認定及び成績評価

授業科目の単位認定は、試験等により授業科目担当教員が行う。

① 成績の評価は次の基準によって行い、A、B及びCを合格、Dを不合格とし、C以上の評価を得た場合に単位を認定する。

A・・・80点以上

B・・・65点以上80点未満

C・・・55点以上65点未満

D・・・55点未満

② 単位認定された成績は、各学期終了後、学務課から「単位修得表」により通知する。（配付日は、表紙裏面の履修登録関係日程を参照。）

定期試験等において不正行為を行った場合は、当該定期試験におけるすべての試験科目を無効とした上で、その状況を考慮して、訓告、停学又は退学いずれかの懲戒処分が行われるので、不正行為は絶対に行わないこと。

3 在学年限等

第1年次入学者及び第3年次編入学者に係る在学年限等については、以下のとおり定めている。

(1) 在学年限

修業年限を超えて在学できる年限については、以下のとおり定めている。

- ① 第1年次入学者については、8年を超えて在学することができない。
ただし、第1年次及び第2年次を通算した期間にあっては4年、第3年次及び第4年次を通算した期間にあっては4年とする。
- ② 第3年次編入学者については、4年を超えて在学することができない。

(2) 休学

疾病その他特別の理由により、引き続き2か月以上修学することができない場合は、所定の「休学願」をクラス担任（又は指導教員）及び所属系長を経由して、原則として休学をしようとする月の前々月の末日までに学務課へ提出し、学長の許可を得て休学することができる（通算して2年以内）。

休学期間は、前記「(1) 在学年限」に算入しない。

なお、休学期間が満了となり、復学する場合は、「復学届」を提出しなければならない。

また、休学事由の消滅により、休学期間に復学しようとする場合は、「復学願」を提出し、原則として復学をしようとする月の前々月の末日までに学務課へ提出し、学長の許可を受けなければならない。

(3) 留年

第2年次末において、既に修得した科目及び単位数が各課程の定める「科目修得基準」（16頁参照）に達しない場合は、第3年次へ進級することができない。

(4) 退学

退学しようとする者は、所定の「退学願」をクラス担任（又は指導教員）及び所属系長を経由して、退学をしようとする月の前月の末日までに学務課へ提出し、学長の許可を得なければならない。

(5) 除籍

次の各号の一に該当する場合は、除籍する。

- ① 前記「(1) 在学年限」に定める期間を超えた者
- ② 前記「(2) 休学」に定める期間を超えて、なお修学できない者
- ③ 死亡又は行方不明の者
- ④ 入学料の免除又は徴収猶予を申請した者のうち、免除若しくは徴収猶予が不許可になった者又は半額免除若しくは徴収猶予が許可になった者で、所定の期日までに入学料を納付しない者
- ⑤ 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

4 日本技術者教育認定機構（JABEE）対応課程

次の課程に所属する者で、所定の科目を履修・修得し、卒業した者には、各々の技術者教育プログラムを修了したものと認定される。

(1) 平成16年度認定予定の課程

- ① 生産システム工学課程
- ② 電気・電子工学課程
- ③ 物質工学課程

(2) 平成17年度認定予定の課程

- ① 機械システム工学課程
- ② 情報工学課程
- ③ 建設工学課程（建築コース）
- ④ 建設工学課程（社会基盤コース）
- ⑤ 知識情報工学課程
- ⑥ エコロジー工学課程

※ 建設工学課程には建築コースと社会基盤コースの2コースがあり、第3年次第3学期までに学生各自の希望を考慮していずれかのコースに配属される予定である。

日本技術者教育認定機構のホームページ <http://www.jabee.org/>

5 各種資格の認定

電気・電子工学課程及び建設工学課程に所属する者で、所定の科目を履修し、修得した者には、以下に示す資格が認定される。

① 電気主任技術者（電気・電子工学課程）

所定の科目を修得し、本学電気・電子工学課程を卒業した後、「電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令」に定められた実務経験を有した者には電気主任技術者の資格が認定される。

なお、その詳細については、電気・電子工学課程の指導によること。

② 測量士補、測量士（建設工学課程）

次の科目を修得し、本学建設工学課程を卒業した者には測量士補、さらにこれに加えて測量に関し1年以上の実務経験を有した者には測量士となる資格が認定される。

ア 第1年次入学者

「測量学I・同実習」及び「測量学II・同演習」

イ 第3年次編入学者（高専等の土木関係学科出身者）

「測量学II・同演習」

ウ 第3年次編入学者（上記以外の学生）

「測量学I・同実習」及び「測量学II・同演習」

③ 一級建築士（建設工学課程）

本学建設工学課程を卒業した後、建築に関して2年以上の実務経験を有した者には、一級建築士試験の受験資格が認定される。

IV 教育課程

1 授業科目・単位等

(1) 授業科目

授業科目は、大きく一般基礎科目と専門科目に分かれている。

一般基礎科目は、一般基礎Ⅰ、一般基礎Ⅱ、一般基礎Ⅲ及び一般基礎Ⅳに、専門科目は専門Ⅰ及び専門Ⅱに区分され、それぞれの科目ごとに単位を定めている。

開講授業科目については、次頁以降の一般基礎科目及び専門科目を参照すること。

なお、授業科目の内容については、別冊「授業紹介」を参照すること。

(2) 必修科目、選択必修科目及び選択科目

- ① 必修科目は、必ず履修して単位を修得しなければならない科目である。
- ② 選択必修科目は、指定された複数の科目群の中から選択して履修し、決められた科目数又は単位数以上を修得しなければならない科目である。
- ③ 選択科目は、開講されている科目の中から選択して履修し、単位を修得する科目である。

(3) 単位の計算方法

授業は、講義、演習、実験、実習及び実技のいずれか、又はこれらの併用により行われるが、1単位の履修時間は、次の基準により計算する。

- ① 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- ② 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。
- ③ 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。

(4) 授業期間

授業期間は、学年暦（表紙裏面参照）によって定めており、第1学期、第2学期及び第3学期の3学期から成っている。

[一般基礎科目及び専門科目の開講学年・学期]

| 1年次 | | | 2年次 | | | 3年次 | | | 4年次 | | |
|------|---|---|------|---|---|------|---|---|------|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| 一般基礎 | | | 一般基礎 | | | 一般基礎 | | | 一般基礎 | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 専門Ⅰ | | | 専門Ⅰ | | | 専門Ⅱ | | | 専門Ⅱ | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

2 一般基礎科目

(1) 一般基礎科目について

本学の教育課程は、一般基礎科目と専門科目を並行実施する「くさび形」になっています。それは専門教育と一般基礎教育が一体となることによって「実践的・創造的な能力を備えた指導的技術者・研究者の育成」という本学の教育目的が達成できると考えているからです。それは専門の領域において優れているだけでなく、「人間性の開花、自然との共生、国際協調的な社会の実現」に技術者・工学者として貢献できる人材ということです。

一般基礎科目は自然科学の分野と人文・社会の分野に大別できます。前者は工学の基礎となる科目で、1, 2年次の学生を対象としています。後者は豊かな素養と人間的な感性を身に付け、それによって人間の社会的営みの中における工学の位置づけ、役割を的確に認識し、柔軟で人間的な発想をすることのできる人材の育成をめざしています。それには「透徹したものを見る目、繊細で温かみのある感性、多元的な思考能力、グローバルな視野」を備えていなければなりません。それは技術／工学の内部では解答の得られない課題であり、まさに一般基礎科目が担うところであります。

この一般基礎科目の目的を達成するために目標としていることを以下に紹介しますので、これをよく理解し、「授業紹介」を参照して履修計画を立ててください。

・全般的な目標

課題・問題を発見し、それを解決する能力を身につける。

・数学・自然科学の分野の目標

数学・自然科学的な思考方法・探求手法の基礎を学習し、同時に専門を学ぶ上での基礎を固めるとともに論理構成力を高め、実験を企画し実行する力や工作能力を身につける。数学・自然科学の知識の工学的応用を理解する。工学の多種領域に対しても関心と理解を得る。

・外国語科目的目標

世界から情報を得、世界へ発信し、海外でも活躍するための手段としての外国語を身につけるとともに、文化の多様性の目を養い、自己及び日本を世界に位置づけて見るために必要な国際的な視野を涵養する。

・人文・社会・保健体育の分野の目標

社会人として社会の動向に対応し、自立した判断を下すことができるよう社会経済の基礎知識を習得する。文化的、芸術的感性を磨き、スポーツに親しみ、個人として心身共に健康で豊かな人生を送ることができるような素養と知識を得る。

(2) 第1年次入学者

① 一般基礎 I

| 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単位数 | 講時数 | | | 備考 | |
|-----------------------|---------|-----|-----|-----|-----|----|--|
| | | | 1年次 | | | | |
| | | | 1学期 | 2学期 | 3学期 | | |
| 必修 | 数学I | 3 | 4 | | | | |
| | 数学II | 3 | 4 | | | | |
| | 物理学I | 2 | 2 | | | | |
| | 化学I | 2 | 2 | | | | |
| 選択 | 物理実験 | 1 | | | | 3 | |
| | 化学実験 | 1 | | | | 3 | |
| | 数学III A | 1.5 | | | 2 | | |
| | 数学III B | 1.5 | | | 2 | | |
| | 物理学II | 2 | | 2 | | | |
| | 物理学III | 2 | | | 2 | | |
| | 物理学IV | 2 | | | | 2 | |
| | 化学II | 2 | | | 2 | | |
| | 化学III | 2 | | | | 2 | |
| | 生物学 | 2 | | | | 2 | |
| | 地学 | 2 | | | | 2 | |
| | | | | | | | |

課程ごとに指定された次の授業科目を修得しなければならない。

〈機械システム〉 物理実験、数学III A 及び数学III B

〈生産システム〉 物理実験、化学実験、数学III B 及び物理学II

〈電気・電子〉 物理実験

〈情報報〉 物理実験又は化学実験

〈物質〉 物理実験又は化学実験

〈建設〉 物理実験又は化学実験

〈知識情報〉 指定科目なし

〈エコロジー〉 物理実験又は化学実験

② 一般基礎 II

| 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単位数 | 講時数 | | | 備考 | |
|-----------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| | | | 1年次 | | | | |
| | | | 1学期 | 2学期 | 3学期 | | |
| 必修 | 保健体育理論 | 2 | 1 | 1 | | | |
| | 保健体育実技I | 1 | | 3 | | | |
| | 保健体育実技II | 1 | | | | 3 | |
| | | | | | | | |
| 選択 I | 国語・国文学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 史学I-A | 3 | | | | 3 | |
| | 史学I-B | 3 | | | | 3 | |
| | 史学I-C | 3 | 1 | 1 | 1 | (3) | |
| | 社会思想史 | 3 | | | | 3 | |
| | 社会科学概論 | 3 | | | | 3 | |
| | 社会工学計画 | 3 | | | | 3 | |
| | 統計学概論 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |

選択 I の中から 3 科目以上を第4年次までに修得しなければならない。

② 一般基礎Ⅱ

| 必 ・ 選 の 別 | 授 業 科 目 | 単 位 数 | 講 時 数 | | | | 備 考 | |
|-----------------------|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|--|
| | | | 1 年 次 | | | 2 年 次 | | |
| | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | | |
| 選択Ⅱ | 史学Ⅱ | 3 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 史学Ⅲ | 3 | | | | 3 | | |
| | 国文学 | 3 | 1 | 1 | 1 | (3) | | |
| | 心理学 | 3 | | | | 3 | | |
| | アメリカ史Ⅰ | 3 | 集中講義 | | | | | |
| | アメリカ史Ⅱ | 3 | | | | 3 | | |
| | 東洋思想史 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 人文地理 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 日本語学 | 3 | | | | 3 | | |
| | 西洋の思想と文化 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 法学 | 3 | | | | 3 | | |
| | ミクロ経済学 | 2 | | | | 2 | | |
| | マクロ経済学 | 2 | | | | 2 | | |
| | 経営学概論 | 2 | 1 | 1 | | (2) | | |
| 選択Ⅲ | 地域経済分析 | 2 | | | | 2 | | |
| | 現代産業論 | 1 | | | | 1 | | |
| | 社会と環境 | 2 | | | | 2 | | |
| | 社会調査論 | 2 | | | | 2 | | |
| | 開発計画論 | 1 | 集中講義 | | | | | |
| | 応用心理学Ⅰ | 1 | 1 | | | | | |
| | 応用心理学Ⅱ | 1 | | | 1 | | | |
| | ※科学技術史 | 2 | 放送大学開講科目 | | | | | |
| | ※社会福祉論 | 2 | 放送大学開講科目 | | | | | |
| | 日本語Ⅰ | 3 | 2 | 2 | 2 | | | |
| | 日本語Ⅱ | 3 | | | | 6 | | |

※の科目は、放送大学において開講する科目である。この科目を放送大学において修得した場合、本学において、修得したものとみなし単位認定する。

③ 一般基礎III

| 必 ・ 選 の 別 | 授 業 科 目 | 単 位 数 | 講 時 数 | | | 備 考 | |
|-----------------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|--|
| | | | 1 年 次 | | | | |
| | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 選 択 | 英語 I | 3 | 2 | 2 | 2 | | |
| | 英語 II | 3 | | | | 6 | |
| | 検定英語 I (a) | 2 | | | | | |
| | 検定英語 I (b) | 2 | | | | | |
| | ドイツ語 II | 3 | | | | 6 | |
| | フランス語 II | 1.5 | | | | 3 | |

(注) 検定英語 I (a), 検定英語 I (b) は、4年次までに英語検定試験 (TOEIC, TOEFL等) で必要な成績を修めた場合、単位認定する。

④ 一般基礎IV

| 必 ・ 選 の 別 | 授 業 科 目 | 単 位 数 | 講 時 数 | | | 備 考 | |
|-----------------------|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------------------|--|
| | | | 1 年 次 | | | | |
| | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 選 択 I | 工学概論 | 3 | 3 | | | 普通高校 出身者対象 | |
| | 工作実習 | 1 | 3 | | | | |
| | 英語基礎 I | 1 | 2 | | | 工業高校 出身者対象 | |
| | 英語演習 | 0.5 | 1 | | | | |
| | 数学基礎 I | 1 | 1 | | | 工業高校 出身者及び外 国人留学生 対象 | |
| | 数学基礎 II | 1.5 | 2 | | | | |
| | 工学基礎 I | 1 | 1 | | | 工業高校 出身者対象 | |
| | 工学基礎 II | 2 | 4 | | | | |

(3) 第3年次編入学者及び進級者

① 一般基礎Ⅱ

| 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | 備考 | |
|-----------------------|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|--|
| | | | 3年次 | | | | |
| | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 選択Ⅰ | 国語・国文学 | 3 | 1 | 1 | 1 | ①第3年次編入者は、選択Ⅰの中から1科目以上を修得しなければならない。 ②進級者は、第1・2年次と通算して、選択Ⅰの中から3科目以上を修得しなければならない。 | |
| | 史学Ⅰ-A | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 史学Ⅰ-B | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 史学Ⅰ-C | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 社会思想史 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 社会科学概論 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 社会工学計画 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 統計学概論 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| 選択Ⅱ | 史学Ⅱ | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 史学Ⅲ | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 国文学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 心理学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | アメリカ史Ⅰ | 3 | 集中講義 | | | | |
| | アメリカ史Ⅱ | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 東洋思想史 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 人文地理 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 日本語学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 西洋の思想と文化 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 法学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | ミクロ経済学 | 2 | 1 | 1 | | | |
| | マクロ経済学 | 2 | 1 | 1 | | | |
| | 経営学概論 | 2 | 1 | 1 | | | |
| | 地域経済分析 | 2 | 1 | 1 | | | |
| | 現代産業論 | 1 | | | 1 | | |
| | 社会と環境 | 2 | 1 | 1 | | | |
| | 社会調査論 | 2 | 1 | 1 | | | |
| 選択Ⅲ | 開発計画論 | 1 | 集中講義 | | | | |
| | 人体生理学 | 2 | 1 | 1 | | | |
| | 応用心理学Ⅰ | 1 | 1 | | | | |
| | 応用心理学Ⅱ | 1 | | | 1 | | |
| | 保健体育実技Ⅲ | 1 | 3 | | | 卒業要件単位数に算入しない。 | |
| | 起業家育成 | 1 | | 1 | | | |
| | ※科学技術史 | 2 | 放送大学開講科目 | | | | |
| | ※社会福祉論 | 2 | 放送大学開講科目 | | | | |
| | 日本語Ⅱ | 3 | 2 | 2 | 2 | | |
| | 日本語Ⅲ | 1.5 | 1 | 1 | 1 | (3) | |
| | 日本語Ⅳ | 1.5 | 1 | 2 | 1 | (3) | |

※の科目は、放送大学において開講する科目である。この科目を放送大学において修得した場合、本学において、修得したものとみなし単位認定する。

② 一般基礎III

| 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単位数 | 講時数 | | | 備考 | |
|-----------------------|-----------|-----|-----|-----|-----|------------|--|
| | | | 3年次 | | | | |
| | | | 1学年 | 2学年 | 3学年 | | |
| 選択 | 英語III | 3 | 2 | 2 | 2 | | |
| | 英語IV | 2 | | | | 4 | |
| | 検定英語II(a) | 1 | | | | 3年次入学者のみ対象 | |
| | 検定英語II(b) | 1 | | | | 3年次入学者のみ対象 | |
| | ドイツ語III | 3 | 2 | 2 | 2 | | |
| | ドイツ語IV | 2 | | | | 4 | |
| | フランス語III | 3 | 2 | 2 | 2 | | |
| | フランス語IV | 1 | | | | 2 | |
| | 中国語 | 3 | 2 | 2 | 2 | | |

(注) 検定英語II(a), 検定英語II(b)は、英語検定試験(TOEIC, TOEFL等)で必要な成績を修めた場合、単位認定する。

③ 一般基礎IV

| 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単位数 | 講時数 | | | 備考 | |
|-----------------------|---------------------|-----|----------|----------|----------|-----|--|
| | | | 3年次 | | | | |
| | | | 1学年 | 2学年 | 3学年 | | |
| 必修 | 技術者倫理 | 1 | | | | 1 | |
| 選択II | 日本語法(A~K) | 各1 | 1(A) | 各1(B-H) | 各1(I-K) | 1単位 | ①選択IIの中から2単位以上を修得しなければならない。 ②左記の単位数までに限り卒業要件単位に算入できる。 ③総合科目は2単位を限度として卒業要件単位に算入できる。 |
| | 英語基礎II(H, I, J) | 各1 | 各2(H-J) | | | 1単位 | |
| | 総合科目IV(A, B) | 各1 | 各1(A, B) | | | 1単位 | |
| | 総合科目V(A, B, C, D) | 各1 | 各1(A, C) | 各1(B, D) | | 1単位 | |
| | 総合科目VI(A, B, C, D) | 各1 | 1(D) | 1(A) | 各1(B, C) | 1単位 | |
| | 総合科目VII(A, B, C, D) | 各1 | 1(A) | 1(B) | 各1(C, D) | 1単位 | |

注 進級者は上記の他、入学時の教育課程において選択Iの中から2科目以上、3単位以上を第4年次までに修得しなければならない。

3 専門科目

機械システム工学課程第1年次入学者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | 備 考 | |
|-------------|-----------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|--|
| | | | | 1年次 | | | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 専 門 I | 必修 | 機械製図 I | 1 | | 3 | | | |
| | | 機械製図 II | 1 | | | 3 | | |
| | | 機械工学実験 I | 3 | | | | 9 | |
| | | 設計製図 I | 1 | | | | 3 | |
| | | 設計製図 II | 1 | | | | 3 | |
| | | 機械工学課題研究 | 1 | | | | 3 | |
| | 選択 I | 一般情報処理 I | 3 | 4 | | | | |
| | | 一般情報処理 II | 2 | | | 2 | | |
| | | 図学 I | 1 | 1 | | | | |
| | | 図学演習 I | 0.5 | 1 | | | | |
| | | 電気回路論 I A | 2 | | 2 | | | |
| | | 電気回路論 I B | 2 | | | 2 | | |
| | | 機械工学入門 | 1 | | | | 1 | |
| | | 工業熱力学 I | 1 | | | | 1 | |
| | | 工業熱力学 II | 1 | | | | 1 | |
| | | 工業熱力学 III | 1 | | | | 1 | |
| | | 水力学 I | 1 | | | | 1 | |
| | | 水力学 II | 1 | | | | 1 | |
| | | 水力学 III | 1 | | | | 1 | |
| | | 材料力学 I | 2 | | | | 2 | |
| | | 材料力学 II | 2 | | | | 2 | |
| | 選択 II | 電子回路 I | 2 | | | | 2 | |
| | | 機構学 | 1 | | | | 1 | |
| | | 機械力学 | 2 | | | | 2 | |
| | | 図学 II | 1 | | 1 | | | |
| | | 図学演習 II | 0.5 | | 1 | | | |
| | | 機械工作法 I | 1 | | | | 1 | |
| | | 機械工作法 II | 1 | | | | 1 | |
| | | 機械要素 | 2 | | | | 2 | |
| | | 材料工学概論 | 1 | | | | 1 | |

機械システム工学課程第3年次編入学者及び進級者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | | 備 考 | |
|--------------|-----------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------------------|--|
| | | | | 3年次 | | | 4 年 次 | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | | |
| 専 門 II | 必修 | 機械工学実験Ⅱ | 3 | 9 | | | | | |
| | | 応用数学Ⅰ | 1.5 | 2 | | | | | |
| | | 応用数学Ⅱ | 1.5 | 2 | | | | | |
| | | 応用数学Ⅲ | 1.5 | | 2 | | | | |
| | | 応用数学Ⅳ | 1.5 | | 2 | | | | |
| | | 機械情報処理実習 | 1 | | | | 3 | | |
| | | 特別研究 | 6 | | | | 18 | | |
| | | 実務訓練 | 6 | | | | 18 | | |
| | 選択必修I | 流体物理学 | 1 | 1 | | | | 選択必修Iより8単位以上修得すること | |
| | | 数値解析法基礎 | 2 | 1 | 1 | | | | |
| | | 光学基礎 | 1 | | 1 | | | | |
| | | 電子・情報工学概論 | 2 | 2 | | | | | |
| | | 電子機械制御 | 2 | | | 2 | | | |
| | | 応用数値解析法Ⅰ | 1 | | | 1 | | | |
| | | 応用数値解析法Ⅱ | 1 | | | | 1 | | |
| | | 電気機器概論 | 2 | | | | 2 | | |
| | 選択必修II | 統計熱力学 | 1 | | | | 1 | 選択必修IIより14単位以上修得すること | |
| | | 機械設計Ⅰ | 1 | 1 | | | | | |
| | | 計測工学 | 1 | 1 | | | | | |
| | | 伝熱工学 | 2 | 1 | 1 | | | | |
| | | 応用熱力学 | 2 | 1 | 1 | | | | |
| | | 制御工学Ⅰ | 2 | 1 | 1 | | | | |
| | | 弾性力学 | 2 | | 2 | | | | |
| | | 流体力学 | 2 | | 1 | 1 | | | |
| | | 金属材料学 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 材料強度学 | 2 | | | 2 | | | |
| | | 制御工学Ⅱ | 1 | | | 1 | | | |
| | | 機械力学 | 2 | | | 2 | 進級者のみ受講可能 | | |
| | | 機械動力学 | 2 | | | 2 | | | |
| | | 振動工学 | 2 | | | | | | |
| | | 機械加工学 | 1 | | | 1 | | | |
| | 選択III | エネルギー・環境論 | 1 | 1 | | | 進級者のみ受講可能 | | |
| | | 機構学 | 1 | | 1 | | | | |
| | | 機械設計Ⅱ | 1 | | 1 | | | | |
| | | 熱機関 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 流体機械 | 1 | | | 1 | | | |
| | | トライボロジー | 1 | | | 1 | | | |
| | | 燃焼工学 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 自動車工学 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 機械システム工学特別講義 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 最適化システムⅠ | 1 | | | 1 | | | |
| | | 精密加工学 | 1 | | | 1 | | | |

生産システム工学課程第1年次入学者

| 区 分 | 必選の別 | 授 業 科 目 | 単 位 数 | 講 時 数 | | | 備 考 | |
|--------------|------|------------|-------------|-------------|-------------|----------|-----|--|
| | | | | 1 年 次 | | 2 年 次 | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | | | |
| 専 門 I | 必 修 | 生産技術史入門 | 1 | | 1 | | | |
| | | 微分方程式A | 1 | | | 1 | | |
| | | 機械製図 I | 1 | | 3 | | | |
| | | 機械製図 II | 1 | | | 3 | | |
| | | 設計製図 I | 1 | | | 3 | | |
| | | 設計製図 II | 1 | | | 3 | | |
| | | 工学基礎実験 | 1 | | 3 | | | |
| | | 工学実験 | 3 | | | 9 | | |
| 選 択 I | | 電気回路論 I A | 2 | | 2 | | | |
| | | 電気回路論 I B | 2 | | | 2 | | |
| | | 電子回路 I | 2 | | | 2 | | |
| | | 一般情報処理 I | 3 | 4 | | | | |
| | | 一般情報処理 II | 2 | | | 2 | | |
| 選 択 II | | 図学 I | 1 | 1 | | | | |
| | | 図学演習 I | 0.5 | 1 | | | | |
| | | 図学 II | 1 | | 1 | | | |
| | | 図学演習 II | 0.5 | | 1 | | | |
| | | 生産システム工学入門 | 1 | | | 1 | | |
| | | 機械工作法 I | 1 | | | 1 | | |
| | | 機械工作法 II | 1 | | | 1 | | |
| | | 機構学 | 1 | | | 1 | | |
| | | 機械要素 | 2 | | | 2 | | |
| | | 材料工学概論 | 1 | | | 1 | | |
| | | 機械力学 | 2 | | | 2 | | |
| | | 水力学 I | 1 | | | 1 | | |
| | | 水力学 II | 1 | | | 1 | | |
| | | 水力学 III | 1 | | | 1 | | |
| | | 材料力学 I | 1.5 | | | 2 | | |
| | | 材料力学 II | 1.5 | | | 2 | | |
| | | 工業熱力学 I | 1 | | | 1 | | |
| | | 工業熱力学 II | 1 | | | 1 | | |
| | | 工業熱力学 III | 1 | | | 1 | | |

生産システム工学課程第3年次編入学者及び進級者

| 区 分 | 必選の別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | | 備 考 |
|---|--|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------------------------|--|
| | | | | 3年次 | | | 4 年 次 | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 必修 | 生産 造 設 計 テ 分 野 工 学 創 | 生産システム工学基礎実験 | 2 | 6 | | | | |
| | | 生産システム工学創造実験 | 1 | | | 3 | | |
| | | プログラミング基礎 | 3 | | 3 | | | |
| | | 生産システム工学研究法基礎 | 2 | | | | 4 | |
| | | 生産システム工学卒業研究 | 6 | | | | 18 | |
| | | 実務訓練 | 6 | | | | 18 | |
| | 数学 分 野 基 礎 | 線形代数 | 2 | 2 | | | | |
| | | ベクトル解析 | 1 | | 1 | | | |
| | | 確率・統計 | 1 | | | 1 | | |
| 選 択 必 修 I | (生 産 シ ス テ ム 工 学 基 礎 分 野) | 生産システム工学基礎 | 1 | 1 | | | | 選択必修Iから10単位以上を修得しなければならない。 1年次進級者で、工学解析数学、旧[数学IVA]（現：微分方程式B）、旧[数学IVB]（現：複素関数）を履修済の者は、それらを10単位の中に含めることができる。ただし、各科目を1単位換算する。3年次編入者で、本学入学前に、「微分方程式B」を未履修の者は必ず履修すること。 |
| | | 生産システム工学計算解析 | 3 | | | 3 | | |
| | | ロボット創造工学 | 2 | | 2 | | | |
| | | 電子機械制御 | 2 | | | 2 | | |
| | | 電子・情報工学概論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 工学解析数学 | 1 | | 1 | | | |
| | | 複素関数 | 1 | | | 1 | | |
| | | 微分方程式B | 1 | 1 | | | | |
| | 機械 分 野 工 学 基 礎 | 機械設計I | 1 | 1 | | | | 機械工学基礎分野、材料工学分野、生産加工学分野及びシステム工学分野から、それぞれ3単位以上、合計12単位以上修得しなければならない。 |
| | | 機械設計II | 1 | | 1 | | | |
| 門 門 II | 熱 移 動 解 析 | 熱移動解析 | 1 | | 1 | | | |
| | | ロボット工学 | 1 | 1 | | | | |
| | | 機械動力学 | 2 | | | 2 | | |
| | | 応用熱力学 | 1 | 1 | | | | |
| | 材 料 工 学 分 野 | 材料工学基礎論I | 1 | 1 | | | | |
| | | 材料工学基礎論II | 1 | | | 1 | | |
| | | 材料保証学 | 1 | | | 1 | | |
| | | 金属材料学 | 1 | | | 1 | | |
| | 生 産 シ ス テ ム 工 学 分 野 | 非金属材料学 | 1 | | | 1 | | |
| | | 塑性加工学 | 1 | 1 | | | | |
| | | 加工の力学 | 1 | | 1 | | | |
| | | 接合加工学 | 1 | 1 | | | | |
| | | 表面プロセス工学 | 1 | | 1 | | | |
| | | 機械加工学 | 1 | 1 | | | | |
| | 制 御 工 学 分 野 | 精密加工学 | 1 | | 1 | | | |
| | | 制御工学基礎論 | 1 | | 1 | | | |
| | | 制御工学解析論 | 1 | | | 1 | | |
| | | 計測システムI | 1 | 1 | | | | |
| | | 計測システムII | 1 | | | 1 | | |
| | | 最適化システムI | 1 | | 1 | | | |
| 選 択 III (応 用 機 械 工 学 分 野) | | 最適化システムII | 1 | | | 1 | | |
| (応用機械工学分野) | 制御工学設計論 | 1 | | | | 1 | | |
| | 産業制御概論 | 1 | | | | 1 | | |
| | 生産工学 | 1 | | | | 1 | | |
| | 流体機械 | 1 | | | | 1 | | |
| | 熱機関 | 1 | | | | 1 | | |
| | トライボロジー | 1 | | | | 1 | | |
| | 自動車工学 | 1 | | | | 1 | | |
| | 腐食・防食工学 | 1 | | | | 1 | | |
| | 流体・物質移動解析 | 1 | | | 1 | | | |
| | 素材生産工学 | 1 | | | | 1 | | |
| | 材料構造解析 | 1 | | | | 1 | | |
| | 構成材料強度学 | 1 | | | | 1 | | |
| | 材料力学I | 1.5 | 2 | | | | 3年次編入学生で材料力学の未履修者は履修が望ましい。 | |
| | 材料力学II | 1.5 | | 2 | | | | |
| | 機械設計・同演習 | 2 | | | | 3 | | |
| | 力学 | 1 | 1 | | | | 3年次編入学生で力学・電磁気学を未履修の者は必ず履修すること。 | |
| | 電磁気学 | 1 | 1 | | | | | |

電気・電子工学課程第1年次入学者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | 備 考 | |
|--------|-----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|--|
| | | | | 1年次 | | | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 専 門 | 必修 | 電気回路論ⅠA | 2 | | 2 | | | |
| | | 電気回路論ⅠB | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気回路論Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | | 一般情報処理Ⅰ | * | 3 | 4 | | | |
| | | 電磁気学序論 | * | 2 | | 2 | | |
| | | 電磁気学ⅠA | * | 2 | | | 2 | |
| | | 電磁気学ⅡA | * | 2 | | | 2 | |
| | | 電子回路Ⅰ | 2 | | | | 2 | |
| | | 電子回路Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | | 論理回路論ⅠA | 2 | | | | 2 | |
| I | 選択 | 電気・電子工学基礎実験 | 3 | | | | 9 | |
| | | 図学Ⅰ | * | 1 | 1 | | | |
| | | 図学演習Ⅰ | * | 0.5 | 1 | | | |
| | | 図学Ⅱ | * | 1 | | 1 | | |
| | | 図学演習Ⅱ | * | 0.5 | | 1 | | |
| | | 情報科学序論 | * | 2 | | | 2 | |
| | | 一般情報処理Ⅱ | * | 2 | | | 2 | |
| | | 電気情報数学基礎 | * | 2 | | 2 | | |
| | | 応用数学 | * | 2 | | | 2 | |
| | | 電気回路論Ⅲ | 2 | | | | 2 | |
| | | 電気計測 | 2 | | | | 2 | |
| | | 通信工学概論 | 2 | | | | 2 | |
| | | システム基礎論 | 2 | | | | 2 | |
| | | 電力工学Ⅰ | 2 | | | | 2 | |
| | | 電気機械工学Ⅰ | 2 | | | | 2 | |
| | | 電気機械工学Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | | プログラム基礎Ⅰ | * | 2 | | | 2 | |
| | | プログラム基礎Ⅱ | * | 2 | | | 2 | |
| | | 電気回路論演習A | 0.5 | | 1 | | | |
| | | 電気回路論演習B | 0.5 | | | 1 | | |

* : 専門ⅠA (自然科学系科目)
無印 : 専門ⅠB (専門技術系科目)

電気・電子工学課程第3年次編入学者及び進級者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授 業 科 目 | 单 位 数 | 講 時 数 | | | | 備 考 | |
|--------|-----------------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|--|
| | | | | 3 年 次 | | | 4 年 次 | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | | |
| 専 門 | 必 修 | 数学IV | * | 1.5 | 2 | | | | |
| | | 数学V | * | 1.5 | | 2 | | | |
| | | 電気数学I | * | 2 | 2 | | | | |
| | | 電気数学II | * | 2 | | 2 | | | |
| | | 電磁気学III A | * | 2 | 2 | | | III A又はIII Bを履修すること (III Bは指定者のみ履修) | |
| | | 電磁気学III B | * | 2 | | | 2 | | |
| | | 電磁気学IVA | * | 2 | | 2 | | IVA又はIV Bを履修すること (IV Bは指定者のみ履修) | |
| | | 電磁気学IVB | * | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気回路論IV | | 2 | 2 | | | | |
| | | 電子回路III | | 2 | | 2 | | | |
| | | 論理回路II | | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気物性基礎論 I | * | 2 | 2 | | | | |
| | | 固体電子工学 I | | 2 | 2 | | | | |
| | | 電気・電子工学実験 I | * | 4 | 12 | | | | |
| | | 電気・電子工学実験 II | | 2 | | | 6 | | |
| | | 特別実験 | | 4 | | | 12 | | |
| | | 実務訓練 | | 6 | | | 18 | | |
| II | 選 択 | 電磁気学I B | | 2 | 2 | | | 3年編入者で指定者のみ履修 | |
| | | 電磁気学II B | | 2 | | 2 | | 3年編入者で指定者のみ履修 | |
| | | 論理回路I B | | 2 | | | 2 | 3年編入者で指定者のみ履修 | |
| | | 電磁気学V | | 2 | | | 2 | | |
| | | 情報理論 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 数値解析 | | 2 | | 2 | | | |
| | | 計算機構成概論 | | 2 | | | 2 | | |
| | | プログラム構成法 | | 2 | 2 | | | | |
| | | データ構造とアルゴリズム | | 2 | | 2 | | | |
| | | 情報ネットワーク | | 2 | | | 2 | | |
| | | 固体電子工学 II | | 2 | | 2 | | | |
| | | 電子回路IV | | 2 | | | 2 | | |
| | | 半導体工学 I | | 2 | | | 2 | | |
| | | 通信システム | | 2 | | | 2 | | |
| | | ディジタル信号処理論 | | 2 | | 2 | | | |
| | | 電気数学演習 | * | 0.5 | | | 1 | 指定者のみ履修 | |
| | | 信号解析論 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 論理回路設計 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気物性基礎論 II | | 2 | | | 2 | | |
| | | 電力工学 II | | 2 | | | 2 | | |
| | | 高電圧工学 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気材料論 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 光工学 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気機器設計法及び製図 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 電離気体論 | | 2 | | | 2 | | |
| | | エネルギー変換工学 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 信頼性工学 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 制御工学 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 原子力工学 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 半導体工学 II | | 2 | | | 2 | | |
| | | 集積回路工学 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気・電子工学特別講義 I | | 1 | | | 1 | | |
| | | 電気・電子工学特別講義 II | | 1 | | | 1 | | |
| | | 工場管理 | | 1 | | | 1 | | |
| | | 電気法規 | | 1 | | | 1 | | |
| | | 電波法規 | | 1 | | | 1 | | |

* : 専門II A (自然科学系科目)

無印 : 専門II B (専門技術系科目)

情報工学課程第1年次入学者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授 業 科 目 | 单 位 数 | 講 時 数 | | | 備 考 | |
|--------|-----------------------|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|--|
| | | | | 1 年 次 | | | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 専 門 | 必 修 | 電気回路論ⅠA | 2 | | 2 | | | |
| | | 電気情報数学基礎 | 2 | | 2 | | | |
| | | 一般情報処理Ⅰ | 3 | 4 | | | | |
| | | 一般情報処理Ⅱ | 2 | | | 2 | | |
| | | 電磁気学Ⅰ | 2 | | | 2 | | |
| | | 電子回路Ⅰ | 2 | | | 2 | | |
| | | 論理回路Ⅰ | 2 | | | 2 | | |
| | | プログラム基礎Ⅰ | 2 | | | 2 | | |
| | | プログラム基礎Ⅱ | 2 | | | 2 | | |
| | | 情報工学基礎実験 | 3 | | | 9 | | |
| I | 選 択 | 図学Ⅰ | 1 | 1 | | | | |
| | | 図学演習Ⅰ | 0.5 | 1 | | | | |
| | | 図学Ⅱ | 1 | | 1 | | | |
| | | 図学演習Ⅱ | 0.5 | | 1 | | | |
| | | 情報科学序論 | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気回路論ⅠB | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気回路論演習A | 0.5 | | 1 | | | |
| | | 電気回路論演習B | 0.5 | | | 1 | | |
| | | 電気回路論Ⅱ | 2 | | | 2 | | |
| | | 応用数学 | 2 | | | 2 | | |
| | | 電磁気学Ⅱ | 2 | | | 2 | | |
| | | 電磁気学Ⅲ | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気回路論Ⅲ | 2 | | | 2 | | |
| | | 電子回路Ⅱ | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気計測 | 2 | | | 2 | | |
| | | 通信工学概論 | 2 | | | 2 | | |
| | | 計算機構成概論 | 2 | | | 2 | | |
| | | システム基礎論 | 2 | | | 2 | | |
| | | ネットワーク工学 | 2 | | | 2 | | |
| | | データ分析理論 | 2 | | | 2 | | |

情報工学課程第3年次編入学者及び進級者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | 備 考 | |
|--------|-----------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|--|
| | | | | 3年次 | | | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 専 門 | 必修 | 数学IV | * | 1.5 | 2 | | | |
| | | 数学V | * | 1.5 | 2 | | | |
| | | 情報数学I | * | 2 | 2 | | | |
| | | 論理回路II | * | 2 | 2 | | | |
| | | 計算機構成論I | * | 2 | 2 | | | |
| | | プログラム構成法 | * | 2 | 2 | | | |
| | | データ構造とアルゴリズム | * | 2 | | 2 | | |
| | | 形式言語論 | | 2 | | 2 | | |
| | | メディア工学 | | 2 | | | 2 | |
| | | 情報ネットワーク | | 2 | | | 2 | |
| | | 情報工学実験I | * | 4 | 12 | | | |
| | | 情報工学実験II | | 2 | | | 6 | |
| | | 特別実験 | | 4 | | | 12 | |
| | | 実務訓練 | | 6 | | | 18 | |
| II | 選択 | 電子回路III | | 2 | 2 | | | |
| | | 論理数学 | | 2 | | 2 | | |
| | | 数値解析 | | 2 | | 2 | | |
| | | 線形システム論 | | 2 | | 2 | | |
| | | デジタル信号処理論 | | 2 | | 2 | | |
| | | 情報理論 | | 2 | | | 2 | |
| | | 言語処理系論 | | 2 | | | 2 | |
| | | 通信システム | | 2 | | | 2 | |
| | | システム・プログラム論 | | 2 | | | 2 | |
| | | 情報数学II | | 2 | | | 2 | |
| | | 電磁気学VI | | 2 | | | 2 | |
| | | 半導体工学I | | 2 | | | 2 | |
| | | 計算理論 | | 2 | | | 2 | |
| | | 計算機構成論II | | 2 | | | 2 | |
| | | プログラミング言語論 | | 2 | | | 2 | |
| | | シミュレーション工学 | | 2 | | | 2 | |
| | | 信号解析論 | | 2 | | | 2 | |
| | | 制御工学 | | 2 | | | 2 | |
| | | 符号理論 | | 2 | | | 2 | |
| | | パターン認識・学習理論 | | 2 | | | 2 | |
| | | 知識工学 | | 2 | | | 2 | |
| | | 半導体工学II | | 2 | | | 2 | |
| | | 集積回路工学 | | 2 | | | 2 | |
| | | 情報工学特別講義I | | 1 | | | 1 | |
| | | 情報工学特別講義II | | 1 | | | 1 | |
| | | 工場管理 | | 1 | | | 1 | |
| | | 電気法規 | | 1 | | | 1 | |
| | | 電波法規 | | 1 | | | 1 | |

* : 専門II A (自然科学系科目)

無印 : 専門II B (専門技術系科目)

物質工学課程第1年次入学者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | 備 考 | |
|--------|-----------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|--|
| | | | | 1年次 | | | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 専 門 | 必修 | 基礎物理化学Ⅰ | 2 | | 2 | | | |
| | | 基礎物理化学Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | | 基礎有機化学Ⅰ | 2 | | 2 | | | |
| | | 基礎有機化学Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | | 基礎無機化学Ⅰ | 2 | | | 2 | | |
| | | 基礎無機化学Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | | 基礎分析化学Ⅰ | 2 | | | 2 | | |
| | | 基礎分析化学Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | | 基礎科学技術英語Ⅰ | 1.5 | | 3 | | | |
| | | 基礎科学技術英語Ⅱ | 1.5 | | | | 3 | |
| | | 物質工学基礎実験Ⅰ | 2 | | | | 6 | |
| | | 物質工学基礎実験Ⅱ | 2 | | | | 6 | |
| | | 物質工学基礎実験Ⅲ | 2 | | | | 6 | |
| I | 選択 | 図学Ⅰ | 1 | 1 | | | | |
| | | 図学演習Ⅰ | 0.5 | 1 | | | | |
| | | 図学Ⅱ | 1 | | 1 | | | |
| | | 図学演習Ⅱ | 0.5 | | 1 | | | |
| | | 一般情報処理Ⅰ | 3 | 4 | | | | |
| | | 一般情報処理Ⅱ | 2 | | | 2 | | |
| | | 電子回路Ⅰ | 2 | | | | 2 | |

物質工学課程第3年次編入学者及び進級者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授 業 科 目 | 单 位 数 | 講 時 数 | | | | 備 考 | |
|--------------|-----------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|--|
| | | | | 3 年 次 | | | 4 年 次 | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | | |
| 専 門 II | 必 修 | 化学安全学 | 1 | 集中講義 | | | | | |
| | | 物質科学技術英語 | 2 | 4 | | | | | |
| | | 物質工学実験 | 4 | 12 | | | | | |
| | | 物理化学 I | 1 | 1 | | | | | |
| | | 物理化学 II | 1 | 1 | | | | | |
| | | 有機物質化学 I | 1 | 1 | | | | | |
| | | 有機物質化学 II | 1 | 1 | | | | | |
| | | 無機物質化学 I | 1 | 1 | | | | | |
| | | 無機物質化学 II | 1 | 1 | | | | | |
| | | 分析学 I | 1 | 1 | | | | | |
| | | 分析学 II | 1 | 1 | | | | | |
| | | 生命物質学 I | 1 | 1 | | | | | |
| | | 生命物質学 II | 1 | 1 | | | | | |
| | | 基礎化学数学 | 1 | 1 | | | | | |
| | | 物質工学卒業研究 I | 4 | | | | | 12 | |
| | | 物質工学卒業研究 II | 8 | | | | | 24 | |
| | | 物質工学演習 IV | 3 | | | | | 6 | |
| | | 実務訓練 | 6 | | | | | 18 | |
| | 選 択 | 物理化学 III | 1 | | | | | 1 | |
| | | 有機物質化学 III | 1 | | | | | 1 | |
| | | 無機物質化学 III | 1 | | | | | 1 | |
| | | 分析学 III | 1 | | | | | 1 | |
| | | 生命物質学 III | 1 | | | | | 1 | |
| | | 実用化学計算 | 1 | | | | | 1 | |
| | | セラミックス材料化学 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 熱・エネルギー工学 | 2 | 2 | | | | | |
| | | 無機材料科学 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 力学物性論 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 気体現象論 | 1 | | | | | 1 | |
| | | コロイド・界面科学 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 化学エネルギー論 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 精密有機合成学 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 高分子反応学 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 高分子材料学 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 触媒反応速度論 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 応用物性化学 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 気相分離科学 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 液相分離科学 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 分析化学反応 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 単結晶X線構造解析入門 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 脳機能分子論 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 物質工学 I | 1 | 1 | | | | | |
| | | 物質工学 II | 1 | | | | | 1 | |
| | | 物質工学 III | 1 | | | | | 1 | |
| | | 物質工学特別講義 I | 1 | 集中講義 | | | | | |
| | | 物質工学特別講義 II | 1 | 集中講義 | | | | | |
| | | 物質工学特別講義 III | 1 | 集中講義 | | | | | |
| | | 物質工学特別講義 IV | 1 | | | | | 1 | |

建設工学課程第1年次入学者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | | 備考 | |
|---------------|-----------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|--|
| | | | | 1年次 | | | 2 年 次 | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | | |
| 専 門 I | 必修 | 建設設計演習Ⅰ | 3 | | 6 | | | | |
| | | 構造力学Ⅰ・同演習 | 2.5 | | 3 | | | | |
| | | 数学IVA | 1.5 | | | | 2 | | |
| | | 建設設計演習Ⅱ | 4 | | | | 8 | | |
| | | 測量学Ⅰ・同実習 | 3 | | | | 5 | | |
| | | 構造力学Ⅱ・同演習 | 2.5 | | | | 3 | | |
| | | 環境学序論Ⅰ | 1 | | | | 1 | | |
| | | 環境学序論Ⅱ | 1 | | | | 1 | | |
| | | 建設物理学 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 建設生産工学 | 1 | | | | 1 | | |
| 専 門 II | 選択必修 | 建設学対話ⅠA | 0.5 | | | 1 | | 構造、環境及び計画の 3分野からそれぞれ 0.5単位、合計では 1.5単位を修得しなけ ればならない。 | |
| | | 建設学対話ⅡA | 0.5 | | | | 1 | | |
| | | 建設学対話ⅢA | 0.5 | | | | 1 | | |
| | | 建設学対話ⅠB | 0.5 | | | 1 | | | |
| | | 建設学対話ⅡB | 0.5 | | | | 1 | | |
| | | 建設学対話ⅢB | 0.5 | | | | 1 | | |
| | | 建設学対話ⅠC | 0.5 | | | 1 | | | |
| | | 建設学対話ⅡC | 0.5 | | | | 1 | | |
| | | 建設学対話ⅢC | 0.5 | | | | 1 | | |
| | | 数学IVB | 1.5 | | | | 2 | | |
| 専 門 III | 選択 | 構造システム学 | 1 | | 1 | | | | |
| | | 図学Ⅰ | 1 | 1 | | | | | |
| | | 図学演習Ⅰ | 0.5 | 1 | | | | | |
| | | 図学Ⅱ | 1 | | 1 | | | | |
| | | 図学演習Ⅱ | 0.5 | | 1 | | | | |
| | | 一般情報処理Ⅰ | 3 | 4 | | | | | |
| | | 一般情報処理Ⅱ | 2 | | | 2 | | | |
| | | 造形演習 | 2 | | | | 4 | | |
| | | 計画序論 | 1 | | | | 1 | | |

建設工学課程第3年次編入学者及び進級者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | | 備考 | |
|--------------|-----------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|--|
| | | | | 3年次 | | | 4 年 次 | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | | |
| 専 門 I | 必修 | 建設設計演習Ⅲ | 3 | 6 | | | | | |
| | | 空間情報設計演習Ⅰ | 1 | | | 2 | | | |
| | | 空間情報設計演習Ⅱ | 1 | | | | 2 | | |
| | | 測量学Ⅱ | 2 | 2 | | | | | |
| | | 建設英語 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 建設工学特別演習 | 6 | | | | 12 | | |
| | | 実務訓練 | 6 | | | | 18 | | |
| 専 門 II | 選択必修I | 構造力学ⅢA | 1 | 1 | | | | 構造、環境及び計画の 3分野からそれぞれ 3単位以上、合計では 12単位以上を修得 しなければならない。 | |
| | | 構造力学ⅢB | 1 | | 1 | | | | |
| | | 鉄筋コンクリート構造学Ⅰ | 1 | 1 | | | | | |
| | | 地盤工学Ⅰ | 1 | 1 | | | | | |
| | | 構造計画法 | 1 | | 1 | | | | |
| | | 地盤解析学 | 1 | | 1 | | | | |
| | | 建築環境工学ⅠA | 1 | 1 | | | | | |
| | | 建築環境工学ⅠB | 1 | 1 | | | | | |
| | | 応用流体力学 | 1 | 1 | | | | | |
| | | 河川環境水理学 | 1 | | 1 | | | | |
| | | 衛生工学Ⅰ | 1 | 1 | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------------------|----------------------|----------|-----|---|---|---|------------------|
| 選 択 必 修 I | 都市地域計画 | 1 | 1 | | | | 計 画 分 野 |
| | 日本建築史 | 1 | | 1 | | | |
| | 建築計画 | 1 | | 1 | | | |
| | 住宅計画 | 1 | | 1 | | | |
| | 施設マネジメント | 1 | | 1 | | | |
| | 交通工学 I | 1 | | 1 | | | |
| | 選択必修 II | 建設工学実験 A | 1 | | | 2 | |
| 門 選 択 II | 建設工学実験 B | 1 | | | | 2 | A・Bいずれかのみを履修すること |
| | 建設数学 A | * | 1.5 | 2 | | | 編入学生を対象 |
| | 建設数学 B | * | 1.5 | | 2 | | 編入学生を対象 |
| | 建設情報処理 | * | 1 | | 2 | | |
| | 土木数理演習 I | * | 0.5 | | | 1 | 社会基盤コースの学生は必修 |
| | 土木数理演習 II | * | 0.5 | | | 1 | 社会基盤コースの学生は必修 |
| | 計画数学 | * | 1 | | | 1 | |
| | 数値解析演習 | * | 1 | | | 2 | |
| | 測量学 II 演習 | | 1 | | | 2 | 社会基盤コースの学生は必修 |
| | 建設法規 | | 1 | | | 1 | |
| | 建設工学特別講義 I | * | 1 | | | 1 | 編入学指定者対象 |
| | 建設工学特別講義 II | * | 1 | | | 2 | 編入学指定者対象 |
| | 建設工学特別講義 III | * | 1 | | | 2 | 編入学指定者対象 |
| | 建設工学特別講義 IV | * | 1 | | | 2 | 編入学指定者対象 |
| | 建設工学特別講義 V | * | 1 | | | 2 | 編入学指定者対象 |
| | 地盤工学 II ・ 同演習 | 1.5 | | 2 | | | |
| | 鉄筋コンクリート構造学 II ・ 同演習 | 1.5 | | | 2 | | A4 |
| | 構造設計演習 | 0.5 | | | 1 | | A3 |
| | 構造解析法 A | 2 | | | | 2 | A3 |
| | 構造解析法 B | 2 | | | | 2 | A3 |
| | 建設施工・マネージメント | 1 | | | | 1 | A4 |
| | 木質構造 | 1 | | | | 1 | A3 |
| | 鋼構造学・同演習 | 1.5 | | 2 | | | A3 |
| | 建築環境工学 I 演習 | 1 | | | 2 | | A2 |
| | 建築設備 | 1 | | | 1 | | A2 |
| | 建築環境工学 II ・ 同演習 | 3 | | | | 4 | A2 |
| | 応用流体力学演習 | 0.5 | 1 | | | | |
| | 河川環境水理学演習 | 0.5 | | 1 | | | |
| | 衛生工学 I 演習 | 0.5 | 1 | | | | |
| | 海岸環境水理学 | 1 | | | | 1 | |
| | 水圏環境学 | 1 | | | | 1 | |
| | 環境流体力学・同演習 | 1.5 | | | | 2 | |
| | 衛生工学 II ・ 同演習 | 1.5 | | | | 2 | |
| | 大気環境システム工学 | 2 | | | 2 | | |
| | 交通工学 II | 1 | | | 1 | | |
| | 交通工学 III | 1 | | | | 1 | |
| | 都市計画演習 | 1 | | | 2 | | A5 |
| | 西洋・東洋建築史 | 1 | | | 1 | | A5 |
| | 意匠設計 | 2 | 2 | | | | A5 |
| | 建設設計演習 IV | 1 | | | 2 | | A1 |
| | 建築再生設計 | 1 | | | | 1 | A5 |
| | 施設マネジメント・同演習 | 1.5 | | | | 2 | |
| | 建築計画・同演習 | 1.5 | | | | 2 | |
| | 住宅計画・同演習 | 1.5 | | | | 2 | |

* 印 専門 II A (自然科学系科目)
無印 専門 II B (専門技術系科目)

なお、建築コースでは、各自の単位修得状況に応じて
A 1～A 5 の不足時間数を受講すること

知識情報工学課程第1年次入学者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授 業 科 目 | 单 位 数 | 講 時 数 | | | 備 考 | |
|--------|-----------------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|--|
| | | | | 1 年 次 | | | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 専 門 | 必 修 | 一般情報処理 I | 3 | 4 | | | | |
| | | 一般情報処理 II | 2 | | 2 | | | |
| | | 情報科学序論 | 2 | | 2 | | | |
| | | 分子情報工学序論 | 2 | | 2 | | | |
| | | 機能情報工学序論 | 2 | | | 2 | | |
| | | 知識情報工学基礎実験 | 3 | | | 9 | | |
| I | 選 択 | 図学 I | 1 | 1 | | | | |
| | | 図学演習 I | 0.5 | 1 | | | | |
| | | 図学 II | 1 | | 1 | | | |
| | | 図学演習 II | 0.5 | | 1 | | | |
| | | 電気回路論 I A | 2 | | 2 | | | |
| | | 電気回路論 I B | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気回路論演習 B | 0.5 | | | 1 | | |
| | | 電気回路論 II | 2 | | | 2 | | |
| | | 電子回路 I | 2 | | | 2 | | |
| | | 電子回路 II | 2 | | | 2 | | |
| | | 論理回路 | 2 | | | 2 | | |
| | | 知識情報数学 | 2 | | | 2 | | |
| | | データ分析理論 | 2 | | | 2 | | |
| | | システム基礎論 | 2 | | | 2 | | |
| | | 離散数学 A | 2 | | | 2 | | |
| | | ネットワーク工学 A | 2 | | | 2 | | |

知識情報工学課程第3年次編入学者及び進級者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | | 備 考 | |
|------------------|-----------------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------------|--|
| | | | | 3年次 | | | 4 年 次 | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | | |
| 専 修 | 必修 | 知識情報工学実験 | 6 | 18 | | | | | |
| | | プログラミングⅠ | 1 | 2 | | | | | |
| | | プログラミングⅡ | 1 | | 2 | | | | |
| | | プログラミングⅢ | 1 | | | 2 | | | |
| | | コンパイラ | 2 | | 2 | | | | |
| | | 線形代数学 | 2 | | 2 | | | | |
| | | 基礎数学 | 2 | 2 | | | | | |
| | | 論理数学 | 2 | 2 | | | | | |
| | | 情報数学 | 2 | | 2 | | | | |
| | | アルゴリズム・データ構造 | 2 | 2 | | | | | |
| | | 形式言語論 | 2 | | 2 | | | | |
| | | 計算機構成論 | 2 | 2 | | | | | |
| | | 特別研究 | 7 | | | | 21 | | |
| | | 実務訓練 | 6 | | | | 18 | | |
| 選 択 必 修 | 選択必修 | ネットワーク工学B | 2 | | | 2 | | ネットワーク工学Aの単位修得者は受講できない | |
| | | プログラム言語論 | 2 | | | 2 | | | |
| | | データベース論 | 2 | | | | 2 | | |
| | | ソフトウェア工学 | 2 | | | | 2 | | |
| | | オペレーティングシステム | 2 | | | | 2 | | |
| 選 択 | 選択 | 離散数学B | 2 | | | 2 | | 離散数学Aの単位修得者は受講できない | |
| | | 情報組織論 | 2 | | | | 2 | | |
| | | ディジタル信号処理 | 2 | | | | 2 | | |
| | | オペレーションズ・リサーチ | 2 | | 2 | | | | |
| | | 知能情報処理 | 2 | | | 2 | | | |
| | | 有機分子設計論 | 2 | | | 2 | | | |
| | | パターン認識・学習理論 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 分子情報システム論 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 知識工学 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 情報理論 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 数値解析学 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 計算理論 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 分子理論 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 画像工学 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 認知工学 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 神経生理工学 | 2 | | | | 2 | | |

(注) 選択必修は、5科目中3科目以上修得しなければならない。

エコロジー工学課程第1年次入学者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | 備 考 | |
|-------------|-----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|--|
| | | | | 1年次 | | | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 専 門 I | 必修 | エコロジー工学入門 | 2 | | 2 | | | |
| | | エコロジー工学英語Ⅰ | 1 | | | 2 | | |
| | | エコロジー工学演習Ⅰ | 1 | | | 2 | | |
| | | エコロジー工学英語Ⅱ | 1.5 | | | | 3 | |
| | | エコロジー工学演習Ⅱ | 1.5 | | | | 3 | |
| | | エコロジー工学基礎実験 | 3 | | | | 9 | |
| | | 物理化学Ⅰ | 1 | | | | 1 | |
| | | 物理化学Ⅱ | 1 | | | | 1 | |
| 選 択 | 専 門 II | 生命科学 | 2 | | | 2 | | |
| | | 環境生態科学 | 2 | | 2 | | | |
| | | 電磁気学Ⅰ | 2 | | | 2 | | |
| | | 電気回路論ⅠA | 2 | | 2 | | | |
| | | 電気回路論ⅠB | 2 | | | 2 | | |
| | | 一般情報処理Ⅰ | 3 | 4 | | | | |
| | | 図学Ⅰ | 1 | 1 | | | | |
| | | 図学演習Ⅰ | 0.5 | 1 | | | | |
| | | 図学Ⅱ | 1 | | 1 | | | |
| | | 図学演習Ⅱ | 0.5 | | 1 | | | |
| | | 一般情報処理Ⅱ | 2 | | | 2 | | |
| | | 物理化学Ⅲ | 1 | | | | 1 | |
| | | 生化学 | 2 | | | | 2 | |
| | | 分析化学 | 2 | | | | 2 | |
| | | 基礎電気工学 | 1 | | | | 1 | |
| | | 基礎化学工学 | 1 | | | | 1 | |
| | | 電子回路Ⅰ | 2 | | | | 2 | |

エコロジー工学課程第3年次編入学者及び進級者

| 区 分 | 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | | 備 考 | |
|--------|-----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------------------|--|
| | | | | 3年次 | | | 4 年 次 | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | | |
| 専 門 | 必修 | 数理解析Ⅰ | 1 | 2 | | | | | |
| | | 数理解析Ⅱ | 1 | 2 | | | | | |
| | | 数理解析Ⅲ | 1 | | 2 | | | | |
| | | エコロジー情報工学 | 2 | | 2 | | | | |
| | | エコロジー工学英語Ⅲ | 1.5 | | 3 | | | | |
| | | エコロジー工学実験 | 3 | | 9 | | | | |
| | | エコロジー工学特別演習 | 2 | | | | 4 | | |
| | | エコロジー工学卒業研究 | 8 | | | | 24 | | |
| | | 実務訓練 | 6 | | | | 18 | | |
| | | エネルギー・環境論 | 1 | 1 | | | | | |
| II | 選択必修Ⅰ | 産業生態工学Ⅰ | 1 | | | 1 | | 選択必修Ⅰの中から3単位以上修得すること | |
| | | 産業生態工学Ⅱ | 2 | | | | 2 | | |
| | | 循環社会工学 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 化学生態学 | 1 | 集中講義 | | | | | |
| | | 分子生物学 | 2 | | | 2 | | | |
| | 選択必修Ⅱ | 生物生態工学Ⅰ | 1 | | | 1 | | 選択必修Ⅱの中から2単位以上修得すること | |
| | | 生物生態工学Ⅱ | 1 | | | | 1 | | |
| | | 応用微生物学 | 2 | | | | 2 | | |
| | 選択必修Ⅲ | 電気電子工学Ⅰ | 2 | 2 | | | | 選択必修Ⅲの中から2単位以上修得すること | |
| | | 電気電子工学Ⅱ | 2 | | | 2 | | | |
| | | 無機電子工学 | 1 | | 1 | | | | |
| | | 電子物性基礎論 | 2 | | | | 2 | | |
| 選 択 | 選択必修Ⅳ | 熱・エネルギー工学 | 2 | 2 | | | | 選択必修Ⅳの中から13単位以上修得すること | |
| | | 環境無機化学 | 1 | 1 | | | | | |
| | | 生命有機化学 | 2 | 2 | | | | | |
| | | 応用物理化学 | 2 | 2 | | | | | |
| | | プロセス装置工学 | 2 | | 2 | | | | |
| | | 環境保全工学 | 2 | | 2 | | | | |
| | | 生物工学 | 2 | | 2 | | | | |
| | | 細胞エネルギー工学 | 2 | | 2 | | | | |
| | | 生体環境分析学 | 2 | | 2 | | | | |
| | | 遺伝子工学 | 2 | | | 2 | | | |
| | | 大気環境計画論 | 2 | | | 2 | | | |
| | | 環境材料工学 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 計測制御工学 | 2 | | | 2 | | | |
| | | 情報数理工学 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 環境評価計画論 | 1 | 集中講義 | | | | | |
| | | エコロジー工学特別講義 | 2 | 集中講義 | | | | | |
| | | 製図学基礎 | 1 | | | | 1 | | |
| | | デジタル信号処理論 | 2 | | | | 2 | | |
| | | 論理回路設計 | 2 | | | | 2 | | |

(注) 選択必修Ⅰ～Ⅳおよび選択科目（他課程開講科目を含む）の合計単位数として24.5単位以上修得すること。

工学研究科修士課程

I 修了要件等

1 修了要件

修士課程の修了要件は、修士課程に2年以上在学し、課程修了に必要な最低修得単位数を以下のとおり修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することと定めている。ただし、優れた業績を上げた者については、在学期間を短縮して修了することができる。

なお、社会計画工学を主として履修する学生の輪講Ⅰ・Ⅱ及び特別研究は「社会計画工学輪講Ⅰ」、「社会計画工学輪講Ⅱ」及び「社会計画工学特別研究」とする。

| 区分 | | 修了要件 単位数 | 備考 | |
|------|------------|-------------|---|---|
| 共通科目 | 社会計画工学関係科目 | 2 | | |
| | 社会文化学関係科目 | 4 | 指導教員が適当と認めた場合は、2単位までに限り、学部の他課程の科目（特別講義を除く）で代替できる。 | |
| | 計 | 6 | | |
| 専攻科目 | 機械システム工学専攻 | 24 | 4単位 | ① 指導教員が適当と認めた場合は、左記の単位数までに限り、他専攻の科目（特別講義を除く）をもって代替できる。 ② 社会計画工学を主として履修する学生は、上記①と合わせ、左記の単位数までに限り、社会計画工学関係科目をもって代替できる。 ③ 指導教員が適当と認めた場合は、専攻科目の一部を「英語特別コース」の科目をもって、代替できる。 |
| | 生産システム工学専攻 | 24 | 6単位 | |
| | 電気・電子工学専攻 | 24 | 4単位 | |
| | 情報工学専攻 | 24 | 6単位 | |
| | 物質工学専攻 | 24 | 6単位 | |
| | 建設工学専攻 | 24 | 6単位 | |
| | 知識情報工学専攻 | 24 | 6単位 | |
| | エコロジー工学専攻 | 24 | 6単位 | |
| 計 | | 30 | | |

2 学位の申請

修了要件の単位を修得した者、又は修得見込みの者でなければ学位を申請することができない。なお、学位論文等の提出については、掲示で通知する。

II 履修方法・試験・在学年限等

1 履修方法

授業科目は、在学専攻の教育課程に従って履修すること。

(1) 履修計画

履修計画は、本書をよく読み、年度始めに行われるガイダンスや指導教員の指導・助言をもとに、授業時間割表により余裕をもって立てること。

なお、選択科目は、都合により開講されない場合があるので、十分注意すること。

- 1 授業時間割表については、各学年の始めに配付する。

なお、集中講義科目については開講時期等が決定次第、掲示等により通知する。

- 2 履修に関する連絡は、学年の始め及び学期の始めに集中するので、見落とさないように注意すること。

(2) 履修登録

履修しようとする授業科目は、「受講科目履修登録表」により、学年の始めの所定の期日までに開講時期等が未確定の集中講義科目を含めてすべて履修登録しなければならない。

履修登録していない授業科目の単位認定は、一切認められない。

なお、各学期の始めの履修登録変更期間に、その学期以降の授業科目について履修変更ができる。

- 1 他専攻及び他課程の授業科目を履修しようとする場合は、「他課程（専攻）科目受講許可願」により指導教員及び授業担当教員の許可を受けた上で履修登録すること。

- 2 履修登録したにもかかわらず、授業や試験を受けない場合は、その授業科目は不合格とする。ただし、履修登録の取り消しをした場合はこの限りでない。

- 3 単位を修得した授業科目は、再度履修登録できない。

- 4 同一時間に開講される授業科目は、重複して履修できない。重複して履修登録した場合、両方の科目が登録されないので注意すること。ただし、試験等による再履修科目及び集中講義科目については、この限りでない。

(3) 履修登録の確認及び訂正

履修登録の確認は、「履修登録確認表」（年度初めに各自に一度しか配布しない）により行うこと。記載された内容に間違いがある場合は、1学期の履修登録変更期間に訂正の手続きを必ず行うこと。

(4) 再履修

定期試験等で不合格となった授業科目のうち、修得を必要とする授業科目は、原則として次年度に再履修すること。

なお、再履修しようとする授業科目についても、履修登録すること。

(5) 試験等による再履修

再履修の場合で、授業科目担当教員が、試験等により単位認定すると認めた場合に限り、「試験等による再履修願」により授業科目担当教員の許可を受けた上で履修登録すること。

2 試験

試験には、定期試験及び追試験がある。

(1) 定期試験

定期試験は、原則として各学期末に一定の期間を定めて実施する。ただし、授業科目担当教員が必要と認めた場合は、隨時に試験が行われる。

なお、定期試験の実施期間及び試験時間割等は、その都度掲示等で通知する。

(2) 追試験

- ア 追試験は、学生が次の理由により、当該授業科目の定期試験を受けることができなかった場合に限り、「追試験受験許可願」に授業科目担当教員等の許可を受けた上で、受験することができる。
- ① 病気（医師の診断書を添付）のとき
 - ② 事故・災害（証明書を添付）及びその他（理由書を添付）正当と認められるとき
- イ 「追試験受験許可願」は、定期試験最終日の翌日から数えて1週間以内に学務課へ提出しなければならない。
- ウ 追試験を受験できなかった場合、再度の追試験は実施しない。

(3) 単位の認定及び成績評価

授業科目的単位認定は、試験等により授業科目担当教員が行う。

- ① 成績の評価は次の基準によって行い、A, B及びCを合格、Dを不合格とし、C以上の評価を得た場合に単位を認定する。

| | | | |
|---|---|---|------------|
| A | … | … | 80点以上 |
| B | … | … | 65点以上80点未満 |
| C | … | … | 55点以上65点未満 |
| D | … | … | 55点未満 |
- ② 単位認定された成績は、各学期終了後、学務課から「単位修得表」により通知する。（配付日は、履修登録関係日程を参照すること。）

3 在学年限

修士課程の学生は、4年を超えて在学することができない。

4 休学

疾病その他特別の理由により、引き続き2か月以上修学することができない場合は、所定の「休学願」を指導教員及び所属系長を経由して、原則として休学をしようとする月の前々月の末日までに学務課へ提出し、学長の許可を得て休学することができる（通算して2年以内）。

休学期間は、前記「3在学年限」に算入しない。

なお、休学期間が満了となり、復学する場合は、「復学届」を提出しなければならない。

また、休学事由の消滅により、休学期間に復学しようとする場合は、「復学願」を提出し、原則として復学をしようとする月の前々月の末日までに学務課へ提出し、学長の許可を受けなければならない。

5 退学・除籍

本紙の23頁（4）退学、（5）除籍の項を参照。

III 教育課程

1 授業科目・単位等

(1) 授業科目

授業科目は、大きく共通科目と専攻科目に分かれ、それぞれの授業科目ごとに単位を定めている。

開講授業科目については、次頁以降の共通科目等及び専攻科目を参照すること。

なお、授業科目の内容については、別冊「授業紹介」を参照すること。

(2) 必修科目と選択科目

① 必修科目は、必ず履修して単位を修得しなければならない科目である。

② 選択科目は、開講されている科目の中から選択して履修し、単位を修得する科目である。

(3) 単位の計算方法

授業は、講義、演習、実験、実習及び実技のいずれか、又はこれらの併用により行われるが、1単位の履修時間は、次の基準により計算する。

① 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

② 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。

③ 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。

(4) 授業期間

授業期間は、学年暦（表紙裏面参照）によって定めており、第1学期、第2学期及び第3学期の3学期から成っている。

2 共通科目

共通科目について

本学は工科系の単科大学ですが、修士課程においても「共通科目」として人文社会の分野で6単位（「社会計画工学」2単位、「社会文化学」4単位）を修得することとしています。他大学と同様本学でも学部で人文・社会系の科目を履修することになっていますが、修士課程でもこのような科目の履修を義務づけているのは、他の大学には例のないユニークな教育課程です。

本学の教育目標は「実践的・創造的な能力を備えた指導的技術者・研究者」の育成です。工学は私たちの生活を豊かにすることを目指すものですから、技術者研究者は工学を人間や社会との関わりの中で見ることができなければなりません。そのためには自分で考え、判断する力が必要ですが、その基礎となるのは人間とその文化や社会的営みについての幅広く豊かな知識、人間的な心と感性です。ここでいう「人間」、「社会」とは当然、歴史的及び世界的な広がりにおいても理解されるべきものです。人間とは何者で、これまで何をし、これから何をしようとしているのか、そしてそれは日本においてどうなのか、私たちは何を価値あることと考えているのか。こうしたことについて知識を得、自分で考えることが大切です。その基礎の上に立って、工学が何をなし得るのか、なにをなすべきなのかを自分で考えられること、それが「創造的」ということです。20世紀後半には、それまでの産業社会で通用した考え方がもはや通用しないことがはっきりしていました。新たな「創造性」が求められています。

このようなことは教室で教わるまでもなく、自分でどんどん考えていくってほしいことですが、そのための手掛かりを提供することが「共通科目」の役割です。ここを入口に、専門の勉強を続ける中でさらに深めていくってほしいのです。そして本学の教育課程を終えた後には、ひとりの社会人そして世界市民としてこれから社会・世界を構想していくプロセスにそれぞれの場で参加していっていただきたいのです。

共通科目

| 分 野 | 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単 位 数 | 講時数 | | | 備 考 | |
|------------------------|-----------------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------------------|--|
| | | | | 1年次 | | | | |
| | | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 社会 計 画 工 学 | 選 択 | 経済システム分析特論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 計量経済学特論 | 2 | 集中講義 | | | | |
| | | 産業政策特論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 管理科学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 生産管理特論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 環境計画特論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 環境経済分析特論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 社会計画工学輪講Ⅰ | 3 | | | | 社会計画工学を主として履修する 学生を対象とする。 | |
| | | 社会計画工学輪講Ⅱ | 3 | | | | | |
| | | 社会計画工学特別研究 | 8 | | | | | |
| 社会 文 化 学 | 選 択 | 社会思想史特論Ⅰ | 2 | 2 | | | | |
| | | 社会思想史特論Ⅱ | 2 | 2 | | | | |
| | | 文学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 哲学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 音声学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 言語と思想Ⅰ | 2 | 2 | | | | |
| | | 言語と思想Ⅱ | 2 | 2 | | | | |
| | | 言語と文化Ⅰ | 2 | 2 | | | | |
| | | 言語と文化Ⅱ | 2 | 2 | | | | |
| | | 日本文化論Ⅰ | 2 | 2 | | | | |
| | | 日本文化論Ⅱ | 2 | (未開講) | | | | |
| | | 英米文化論Ⅰ | 2 | 2 | | | | |
| | | 英米文化論Ⅱ | 2 | 2 | | | | |
| | | 西欧文化論 | 2 | (未開講) | | | | |
| | | 歴史と文化 | 2 | 2 | | | | |
| | | 異文化コミュニケーションⅠ | 2 | 2 | | | | |
| | | 異文化コミュニケーションⅡ | 2 | 2 | | | | |
| | | 言語と社会Ⅰ | 2 | 2 | | | | |
| | | 言語と社会Ⅱ | 2 | 2 | | | | |
| | | 脳神経科学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 運動生理学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 体育科学 | 2 | 2 | | | 修了要件単位に算入しない。 特例科目として開講する。 | |
| | | 日本事情 | 2 | 1 | 1 | | | |
| 特 例 | 選 択 | 研究開発と知的財産権(※) | 2 | 2 | | | | |

[注] ※の科目は、社会計画工学又は社会文化学分野の修了要件単位数が充足していない場合に限り、
いずれかの修了要件単位として算入できる。

3 専攻科目

機械システム工学専攻

| 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単位数 | 講時数 | | | 備考 | |
|-----------------------|------------------|-----|------|-----|-----|----|--|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | |
| | | | 1学期 | 2学期 | | | |
| 必修 | 機械システム工学輪講Ⅰ | 3 | | | | | |
| | 機械システム工学輪講Ⅱ（※1） | 3 | | | | | |
| | 機械システム工学特別研究（※2） | 6 | | | | | |
| 選択 | 応用熱工学Ⅰ | 1 | 1 | | | | |
| | 応用熱工学Ⅱ | 1 | 1 | | | | |
| | 流体工学特論 | 1 | 1 | | | | |
| | 流体機械特論 | 1 | | | 1 | | |
| | 混相流の工学 | 1 | | 1 | | | |
| | 核エネルギー工学 | 1 | | | 1 | | |
| | 応用燃焼学 | 1 | | 1 | | | |
| | 反応性流体力学 | 1 | | 1 | | | |
| | エネルギー物理工学 | 1 | | | 1 | | |
| | 乱流工学 | 1 | | 1 | | | |
| | 機械力学特論 | 1 | | 1 | | | |
| | 計算機械工学 | 1 | | 1 | | | |
| | 破壊力学 | 1 | 1 | | | | |
| | 機械表面分析 | 1 | | 1 | | | |
| | システム制御論（機械） | 1 | | | 1 | | |
| | ロボット工学特論 | 1 | | | 1 | | |
| | 機械表面物性 | 1 | | 1 | | | |
| | 機械システム工学大学院特別講義Ⅰ | 1 | 集中講義 | | | | |
| | 機械システム工学大学院特別講義Ⅱ | 1 | 集中講義 | | | | |

〔注1〕 ※1は、2年次で修得すべき授業科目であるが、特に成績の優秀な者に対しては、系の了解のもとに当該専攻科目又は他専攻の科目（4単位を限度とする。）の単位により、これに替えることができる。ただし、〔注2〕の条件が満たされていることを要す。

〔注2〕 ※2は、2年間で修得すべき授業科目であるが、特に顕著な成果をあげた者に対しては、これを1年次のみで修得可能とする。

生産システム工学専攻

| 必 ・ 選 の 別 | 授 業 科 目 | 単 位 数 | 講 時 数 | | | 備 考 | |
|-----------------------|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|--|
| | | | 1 年 次 | | | | |
| | | | 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 | | |
| 必 修 | 生産システム工学輪講 I | 3 | | | | | |
| | 生産システム工学輪講 II (※1) | 3 | | | | | |
| | 生産システム工学特別研究 (※2) | 4 | | | | | |
| | 生産システム技術英語 | 1 | 1 | | | | |
| 選 択 | 接合加工学特論 | 1 | | | 1 | | |
| | 表面プロセス工学特論 | 1 | 1 | | | | |
| | 精密加工特論 | 2 | | | 2 | | |
| | 計算力学 | 1 | 1 | | | | |
| | 成形加工学 | 1 | | 1 | | | |
| | 電気化学 | 2 | 2 | | | | |
| | 金属物理化学特論 | 1 | | | 1 | | |
| | 材料機能制御特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 医療・福祉工学特論 | 1 | 1 | | | | |
| | 材料保証学特論 | 1 | | 1 | | | |
| | システム制御論 (生産) | 1 | 1 | | | | |
| | システム制御設計論 | 1 | | 1 | | | |
| | 音響信号処理工学特論 | 1 | 1 | | | | |
| | 画像計測論 | 1 | | 1 | | | |
| | 意思決定支援論 | 1 | | 1 | | | |
| | 生産システム論 | 1 | | | 1 | | |
| | 生産システム工学大学院特別講義 I | 1 | 集中講義 | | | | |
| | 生産システム工学大学院特別講義 II | 1 | 集中講義 | | | | |
| | 生産システム工学大学院特別講義 III | 1 | 集中講義 | | | | |

〔注 1〕 ※ 1 は、2 年次で修得すべき授業科目であるが、特に成績の優秀な者に対しては、系の了解のもとに当該専攻科目又は他専攻の科目（6 単位を限度とする。）の単位により、これに替えることができる。ただし、〔注 2〕の条件が満たされていることを要す。

〔注 2〕 ※ 2 は、2 年間で修得すべき授業科目であるが、特に顕著な成果をあげた者に対しては、これを 1 年次のみで修得可能とする。

電気・電子工学専攻

| 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単位数 | 講時数 | | | 備考 | |
|-----------------------|-----------------|-----|------|-----|-----|----|--|
| | | | 1年次 | | | | |
| | | | 1学期 | 2学期 | 3学期 | | |
| 必修 | 電気・電子工学輪講Ⅰ | 3 | | | | | |
| | 電気・電子工学輪講Ⅱ（※1） | 3 | | | | | |
| | 電気・電子工学特別研究（※2） | 8 | | | | | |
| 選択 | 技術英作文 | 1 | 1 | | | 1 | |
| | 超電導工学特論Ⅰ | 2 | | | | 2 | |
| | 超電導工学特論Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | スピニ・エレクトロニクス特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 固体電子工学特論Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | 表面物性特論 | 2 | 2 | | | | |
| | 応用固体物理学特論 | 2 | | | | 2 | |
| | 電気絶縁工学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | エネルギー変換工学特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 電力工学特論 | 2 | | | | 2 | |
| | 誘電体工学特論 | 2 | | | | 2 | |
| | プラズマ応用工学特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 電気応用工学特論 | 2 | | | | 2 | |
| | 固体電子工学特論Ⅰ | 2 | | | | 2 | |
| | 光エレクトロニクス特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 半導体工学特論Ⅰ | 2 | | | | 2 | |
| | 半導体工学特論Ⅱ | 2 | 2 | | | | |
| | 半導体工学特論Ⅲ | 2 | | | | 2 | |
| | 集積回路工学特論 | 2 | | | | 2 | |
| | パワーエレクトロニクス特論 | 2 | | | | 2 | |
| | 電気・電子工学大学院特別講義Ⅰ | 1 | 集中講義 | | | | |
| | 電気・電子工学大学院特別講義Ⅱ | 1 | 集中講義 | | | | |

[注1] ※1は、2年次で修得すべき授業科目であるが、特に成績の優秀な者に対しては、系の了解のもとに当該専攻科目又は他専攻の科目（4単位を限度とする。）の単位により、これに替えることができる。ただし、[注2]の条件が満たされていることを要す。

[注2] ※2は、2年間で修得すべき授業科目であるが、特に顕著な成果をあげた者に対しては、これを1年次のみで修得可能とする。

情報工学専攻

| 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単位数 | 講時数 | | | 備考 | |
|-----------------------|---------------|-----|------|-----|-----|------|--|
| | | | 1年次 | | | | |
| | | | 1学期 | 2学期 | 3学期 | | |
| 必修 | 情報工学輪講Ⅰ | 3 | | | | | |
| | 情報工学輪講Ⅱ（※1） | 3 | | | | | |
| | 情報工学特別研究（※2） | 8 | | | | | |
| 選択 | 技術英作文 | 1 | 1 | | | 1 | |
| | 情報工学基礎特論 | 2 | | | | 2 | |
| | 電子計算機工学特論Ⅰ | 2 | | | | 2 | |
| | 電子計算機工学特論Ⅱ | 2 | 2 | | | | |
| | 電子計算機工学特論Ⅲ | 2 | | 2 | | | |
| | 電子計算機応用特論Ⅰ | 2 | | | | 2 | |
| | 電子計算機応用特論Ⅱ | 2 | | 2 | | 遠隔教育 | |
| | 画像工学特論Ⅰ | 2 | | 2 | | | |
| | 画像工学特論Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | システム工学特論Ⅰ | 2 | | | 2 | | |
| | システム工学特論Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | 情報データ処理特論 | 2 | 2 | | | | |
| | 生体情報工学特論 | 2 | | | | 2 | |
| | デジタル信号処理工学特論Ⅰ | 2 | | 2 | | | |
| | デジタル信号処理工学特論Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | 情報交換工学特論Ⅰ | 2 | | | | 2 | |
| | 情報交換工学特論Ⅱ | 2 | | | 2 | | |
| | 情報伝送工学特論Ⅰ | 2 | | | | 2 | |
| | 情報伝送工学特論Ⅱ | 2 | 2 | | | | |
| | 情報工学大学院特別講義Ⅰ | 1 | 集中講義 | | | | |
| | 情報工学大学院特別講義Ⅱ | 1 | 集中講義 | | | | |

[注1] ※1は、2年次で修得すべき授業科目であるが、特に成績の優秀な者に対しては、系の了解のもとに当該専攻科目又は他専攻の科目（4単位を限度とする。）の単位により、これに替えることができる。ただし、[注2]の条件が満たされていることを要す。

[注2] ※2は、2年間で修得すべき授業科目であるが、特に顕著な成果をあげた者に対しては、これを1年次のみで修得可能とする。

物質工学専攻

| 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単位数 | 講時数 | | | 備考 | |
|-----------------------|--------------|-----|------|-----|-----|----|--|
| | | | 1年次 | | | | |
| | | | 1学期 | 2学期 | 3学期 | | |
| 必修 | 物質工学輪講Ⅰ | 3 | | | | | |
| | 物質工学輪講Ⅱ（※1） | 3 | | | | | |
| | 物質工学特別研究（※2） | 6 | | | | | |
| 選択 | 分離定量分析化学特論Ⅰ | 1 | | | 1 | | |
| | 分離定量分析化学特論Ⅱ | 1 | | | 1 | | |
| | 溶液化学特論 | 1 | | | 1 | | |
| | 無機物性工学特論Ⅰ | 1 | | 1 | | | |
| | 無機物性工学特論Ⅱ | 1 | | 1 | | | |
| | 無機材料工学特論Ⅰ | 1 | | | 1 | | |
| | 無機材料工学特論Ⅱ | 1 | | | 1 | | |
| | 応用物理化学特論Ⅰ | 1 | 1 | | | | |
| | 応用物理化学特論Ⅱ | 1 | 1 | | | | |
| | 有機材料工学特論Ⅰ | 1 | 1 | | | | |
| | 有機材料工学特論Ⅱ | 1 | 1 | | | | |
| | 複合材料工学特論Ⅰ | 1 | | | 1 | | |
| | 複合材料工学特論Ⅱ | 1 | | | 1 | | |
| | 応用有機化学特論Ⅰ | 1 | 1 | | | | |
| | 応用有機化学特論Ⅱ | 1 | 1 | | | | |
| | 生化学特論Ⅰ | 1 | | | 1 | | |
| | 生化学特論Ⅱ | 1 | | | 1 | | |
| | エネルギー化学特論 | 1 | | | 1 | | |
| | 物質工学院特別講義Ⅰ | 0.5 | | | 0.5 | | |
| | 物質工学院特別講義Ⅱ | 0.5 | | | 0.5 | | |
| | 物質工学院特別講義Ⅲ | 0.5 | | | 0.5 | | |
| | 物質工学院特別講義Ⅳ | 0.5 | 集中講義 | | | | |
| | 物質工学院特別講義Ⅴ | 0.5 | 集中講義 | | | | |
| | 物質工学院特別講義Ⅵ | 0.5 | 集中講義 | | | | |

[注1] ※1は、2年次で修得すべき授業科目であるが、特に成績の優秀な者に対しては、系の了解のもとに当該専攻科目又は他専攻の科目（6単位を限度とする。）の単位により、これに替えることができる。ただし、[注2]の条件が満たされていることを要す。

[注2] ※2は、2年間で修得すべき授業科目であるが、特に顕著な成果をあげた者に対しては、これを1年次のみで修得可能とする。

建設工学専攻

| 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単位数 | 講時数 | | | 備考 | |
|-----------------------|--------------|-----|------|-----|-----|----|--|
| | | | 1年次 | | | | |
| | | | 1学期 | 2学期 | 3学期 | | |
| 必修 | 建設工学輪講Ⅰ | 3 | | | | | |
| | 建設工学輪講Ⅱ（※1） | 3 | | | | | |
| | 建設工学特別研究（※2） | 6 | | | | | |
| 選択 | 構造工学特論Ⅰ | 2 | 2 | | | | |
| | 構造工学特論Ⅱ | 2 | | | 2 | | |
| | 構造力学特論Ⅰ | 2 | | 2 | | | |
| | 構造力学特論Ⅱ | 2 | | | 2 | | |
| | 地盤工学特論Ⅰ | 2 | | | 2 | | |
| | 地盤工学特論Ⅱ | 2 | | | 2 | | |
| | 構造学大学院特別講義Ⅰ | 1 | | | | 1 | |
| | 構造学大学院特別講義Ⅱ | 1 | 集中講義 | | | | |
| | 建築環境工学特論Ⅰ | 2 | | 2 | | | |
| | 建築環境工学特論Ⅱ | 2 | | | 2 | | |
| | 水工学特論Ⅰ | 2 | | | 2 | | |
| | 水工学特論Ⅱ | 2 | 2 | | | | |
| | 衛生工学特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 環境工学大学院特別講義Ⅰ | 1 | | | | 1 | |
| | 環境工学大学院特別講義Ⅱ | 1 | 集中講義 | | | | |
| | 都市計画特論 | 2 | 2 | | | | |
| | 建築史特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 施設マネジメント特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 建築計画特論 | 2 | | | 2 | | |
| | 住宅計画特論 | 2 | | | 2 | | |
| | 交通計画特論 | 2 | | | 2 | | |
| | 計画大学院特別講義Ⅰ | 1 | | | | 1 | |
| | 計画大学院特別講義Ⅱ | 1 | 集中講義 | | | | |

[注1] ※1は、2年次で修得すべき授業科目であるが、特に成績の優秀な者に対しては、系の了解のもとに当該専攻科目又は他専攻の科目（6単位を限度とする。）の単位により、これに替えることができる。ただし、[注2]の条件が満たされていることを要す。

[注2] ※2は、2年間で修得すべき授業科目であるが、特に顕著な成果をあげた者に対しては、これを1年次のみで修得可能とする。

知識情報工学専攻

| 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単位数 | 講時数 | | | 備考 | |
|-----------------------|----------------|-----|------|-----|-----|----|--|
| | | | 1年次 | | | | |
| | | | 1学期 | 2学期 | 3学期 | | |
| 必修 | 知識情報工学輪講Ⅰ | 3 | | | | | |
| | 知識情報工学輪講Ⅱ（※1） | 3 | | | | | |
| | 知識情報工学特別研究（※2） | 8 | | | | | |
| | 知識情報工学大学院特別講義Ⅰ | 1 | 集中講義 | | | | |
| 選択 | 画像工学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | システム科学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | ディジタルシステム理論 | 2 | | 2 | | | |
| | 音声情報処理工学特論 | 2 | | | 2 | | |
| | 並列・分散処理論 | 2 | 2 | | | | |
| | 知識処理論 | 2 | | 2 | | | |
| | 応用データベース論 | 2 | | | 2 | | |
| | 化学アルゴリズム論 | 2 | | | 2 | | |
| | 計量化学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | 分子設計工学 | 2 | 2 | | | | |
| | 分子解析工学 | 2 | | 2 | | | |
| | 認知心理工学 | 2 | | | 2 | | |
| | マルチメディア情報通信特論 | 2 | 2 | | | | |
| | 神経系構成論 | 2 | | 2 | | | |
| | ディジタル画像処理特論 | 2 | 2 | | | | |
| | ソフトウェア工学特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 知能システム論 | 2 | | 2 | | | |
| | 量子生物学 | 2 | 2 | | | | |
| | 知識情報工学大学院特別講義Ⅱ | 1 | | | | 1 | |
| | 知識情報英語Ⅰ | 1 | 1 | | | | |
| | 知識情報英語Ⅱ（A, B） | 1 | | 1 | | | |
| | 知識情報英語Ⅲ（A, B） | 1 | | | 1 | | |

[注1] ※1は、2年次で修得すべき授業科目であるが、特に成績の優秀な者に対しては、系の了解のもとに当該専攻科目又は他専攻の科目（6単位を限度とする。）の単位により、これに替えることができる。ただし、[注2]の条件が満たされていることを要す。

[注2] ※2は、2年間で修得すべき授業科目であるが、特に顕著な成果をあげた者に対しては、これを1年次のみで修得可能とする。

エコロジー工学専攻

| 必 ・ 選 の 別 | 授業科目 | 単位数 | 講時数 | | | 備考 | |
|-----------------------|-----------------|-----|------|-----|-----|----|--|
| | | | 1年次 | | | | |
| | | | 1学期 | 2学期 | 3学期 | | |
| 必修 | エコロジー工学輪講Ⅰ | 3 | | | | | |
| | エコロジー工学輪講Ⅱ（※1） | 3 | | | | | |
| | エコロジー工学特別研究（※2） | 6 | | | | | |
| 選択 | 分子生命科学特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 応用生物工学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | 環境電気電子工学特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 環境反応工学特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 環境数理工学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | 環境保全材料工学特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 物理化学特論Ⅰ | 2 | 2 | | | | |
| | 物理化学特論Ⅱ | 2 | | 2 | | | |
| | エコロジー工学大学院特別講義Ⅰ | 1 | 集中講義 | | | | |
| | エコロジー工学大学院特別講義Ⅱ | 1 | 集中講義 | | | | |

[注1] ※1は、2年次で修得すべき授業科目であるが、特に成績の優秀な者に対しては、系の了解のもとに当該専攻科目又は他専攻の科目（6単位を限度とする。）の単位により、これに替えることができる。ただし、[注2]の条件が満たされていることを要す。

[注2] ※2は、2年間で修得すべき授業科目であるが、特に顕著な成果をあげた者に対しては、これを1年次のみで修得可能とする。

工学研究科博士後期課程

I 修了要件等

1 修了要件

博士後期課程の修了要件は、博士後期課程に3年以上在籍し、課程修了に必要な最低修得単位数を以下のとおり修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することと定めている。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間を短縮して修了することができる。

なお、修士課程の授業科目（専攻科目の特別講義及び共通科目は除く。）及び他専攻の博士後期課程の授業科目を履修することができ、大学が適当と認めた場合は、その単位のうち4単位までに限り修了に必要な単位数に算入することができる。

| 区分 | 修了要件単位数 | 備考 |
|---------------|---------|----|
| 機械・構造システム工学専攻 | 9 | |
| 機能材料工学専攻 | 9 | |
| 電子・情報工学専攻 | 9 | |
| 環境・生命工学専攻 | 9 | |

2 学位の申請

修了要件の単位を修得した者、又は修得見込みの者でなければ学位を申請することができない。なお、学位論文等の提出については、掲示で通知する。

II 履修方法・試験・在学年限等

1 履修方法

- (1) 授業科目の履修に当たっては、指導教員の指導・助言によって授業科目を履修し、必要な研究指導を受けること。
- (2) 履修しようとする授業科目は、「受講科目履修登録表」により、指定の期日までにすべて履修登録しなければならない。
- (3) 単位を修得した授業科目については、再度履修登録することができない。
- (4) 再履修
 - 定期試験等で不合格となった授業科目のうち、修得を必要とする授業科目は、原則として次年度に再履修すること。
なお、再履修しようとする授業科目についても、履修登録すること。

2 試験

試験には、定期試験及び追試験がある。

(1) 定期試験

定期試験は、原則として各学期末に一定の期間を定めて実施する。ただし、授業科目担当教員が必要と認めた場合は、隨時に試験が行われる。

(2) 追試験

- ア 追試験は、学生が次の理由により、当該授業科目の定期試験を受けることができなかつた場合に限り、「追試験受験許可願」に授業科目担当教員等の許可を受けた上で、受験することができる。
 - ① 病気（医師の診断書を添付）のとき
 - ② 事故・災害（証明書を添付）及びその他（理由書を添付）正当と認められるとき
- イ 「追試験受験許可願」は、定期試験最終日の翌日から数えて1週間以内に学務課へ提出しなければならない。
- ウ 追試験を受験できなかった場合、再度の追試験は実施しない。

(3) 単位の認定及び成績評価

授業科目の単位認定は、試験等により授業科目担当教員が行う。

- ① 成績の評価は次の基準によって行い、A, B及びCを合格、Dを不合格とし、C以上の評価を得た場合に単位を認定する。
 - A・・・80点以上
 - B・・・65点以上80点未満
 - C・・・55点以上65点未満
 - D・・・55点未満
- ② 単位認定された成績は、各学期終了後、学務課から「単位修得表」により通知する。（配付日は、掲示により通知する。）

3 在学年限

博士後期課程の学生は、6年を超えて在学することができない。

4 休学

疾病その他特別の理由により、引き続き2か月以上修学することができない場合は、所定の「休学願」を指導教員及び所属専攻主任を経由して、原則として休学をしようとする月の前々月の末日までに学務課へ提出し、学長の許可を得て休学することができる（通算して2年以内）。

休学期間は、前記「3 在学年限」に算入しない。

なお、休学期間が満了となり、復学する場合は、「復学届」を提出しなければならない。

また、休学事由の消滅により、休学期間に復学しようとする場合は、「復学願」を提出し、原則として復学をしようとする月の前々月の末日までに学務課へ提出し、学長の許可を受けなければならない。

5 退学・除籍

本紙の23頁（4）退学、（5）除籍の項を参照。

III 教育課程

1 授業科目・単位等

(1) 授業科目

授業科目は専攻科目だけであり、それぞれの授業科目ごとに単位を定めている。

開講授業科目については、次頁以降の「2 専攻科目」に掲載してある。

(2) 単位の計算方法

授業は、講義、演習、実験、実習及び実技のいずれか、又はこれらの併用により行われるが、1単位の履修時間は、次の基準により計算する。

- ① 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- ② 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。
- ③ 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。

(3) 授業期間

授業期間は、学年暦（表紙裏面参照）によって定めており、第1学期、第2学期及び第3学期の3学期から成っている。

2 専攻科目

機械・構造システム工学専攻

| 必修・選択の別 | 授業科目 (科目コード) | 単位数 | 担当教員名 | 教育研究分野 | 備考 |
|---------|---------------------------|-----|-----------------------|----------|----|
| 必修 | 機械・構造システム工学輪講 (311000) | 3 | 各教員 | 機械システム工学 | |
| 選択 | 固体力学特論 (312010) | 2 | 今年度開講せず | | |
| 選択 | 構造信頼性工学特論 (312020) | 2 | 本間寛臣 関東祐 | | |
| 選択 | トライボロジー特論 (312030) | 2 | 上村正雄 竹嘉紀 | | |
| 選択 | 移動現象学特論 (312040) | 2 | 北村健三 | | |
| 選択 | 燃焼工学特論 (312050) | 2 | 野田進 | | |
| 選択 | 熱工学特論 (312060) | 2 | 三田地紘史 中川文司 鈴木勝司 | | |
| 選択 | 流体力学特論 (312070) | 2 | 蒔田秀治 | | |
| 選択 | 油空圧工学特論 (312080) | 2 | 日比昭記 柳田秀記 | | |
| 選択 | 計測・制御工学特論 (312090) | 2 | 高木章二 鈴木新樹 内山直樹 | | |
| 選択 | 変形加工学特論 (312100) | 2 | 森謙一郎 牧清二郎 | 加工学 | |
| 選択 | 除去加工学特論 (312110) | 2 | 堀柴内田宰行 隆行 | | |
| 選択 | 付加加工学特論 (312120) | 2 | 福安本昌宏 井利宏明 | | |
| 選択 | 空間構造システム特論 (312130) | 2 | 加藤史郎 山田聖志 | 構造システム工学 | |
| 選択 | 複合システム構成特論 (312140) | 2 | 河邑真也 三浦均也 | | |
| 選択 | 構法・材料設計学特論 (312150) | 2 | 角倉徹三洋 日本 | | |

注) 開講年次は、指導教員に確認すること

機能材料工学専攻

| 必修・選択の別 | 授業科目 (科目コード) | 単位数 | 担当教員名 | 教育研究分野 | 備考 |
|---------|---|-----|-----------------------------|---------|----|
| 必修 | 機能材料工学輪講 (321000) | 3 | 各教員 | | |
| 選択 | 金属材料生産工学特論 (322020) | 2 | 川上正博 竹中俊英 | | |
| 選択 | 金属物理化学特論 (322030) | 2 | 横山誠二 | 材料設計工学 | |
| 選択 | 分子材料合成工学特論 (322040) | 2 | 岩佐精二 | | |
| 選択 | Advanced Molecular Design Engineering (322051) | 2 | 関野秀男 後藤仁志 | 英語で講義する | |
| 選択 | 金属材料解析工学特論 (322070) | 2 | 戸田裕之 | | |
| 選択 | Advanced Medical Materials (322075) | 2 | 新家光雄 | 材料解析工学 | |
| 選択 | 材料評価解析工学特論 (322080) | 2 | 神野清勝 平田幸夫 服部敏明 | | |
| 選択 | 無機材料解析工学特論 (322090) | 2 | 逆松井基厚 次範 | 英語で講義する | |
| 選択 | 材料表面解析工学特論 (322100) | 2 | 堤和男 大串達夫 西宮伸彦 松本幸彦 | | |
| 選択 | Advanced Materials Property Engineering (322111) | 2 | 梅本実一 土谷浩 | 材料応用工学 | |
| 選択 | 有機材料応用工学特論 (322120) | 2 | 竹市力一 伊津野真一 | | |
| 選択 | 生体分子特性工学特論 (322130) | 2 | 青木克之子 吉田祥 | 英語で講義する | |
| 選択 | 無機材料応用工学特論 (322140) | 2 | 亀頭直樹 水嶋智義 角田範 | | |
| 選択 | 分子情報工学特論 (322150) | 2 | 阿部由典 高橋典 栗田雅之 | | |

注) 開講年次は、指導教員に確認すること

電子・情報工学専攻

| 必修・選択の別 | 授業科目 (科目コード) | 単位数 | 担当教員名 | 教育研究分野 | 備考 |
|---------|---------------------------|-----|------------------------------------|--------|-----------|
| 必修 | 電子・情報工学輪講 (331000) | 3 | 教育研究分野①②の各教員 | | いずれか3単位以上 |
| 必修 | 文化システム輪講 (331010) | 3 | 教育研究分野③の各教員 | | |
| 選択 | 電気エネルギー工学特論 (332010) | 2 | 長尾 雅行 穂積 直裕 | | |
| 選択 | 新エネルギー応用工学特論 (332020) | 2 | 榎原 建樹 | | |
| 選択 | 放電プロセスマネジメント工学特論 (332080) | 2 | 滝川 浩史 徐国春 | | |
| 選択 | エネルギー変換工学特論 (332030) | 2 | 恩田 和夫 乾義尚 | | |
| 選択 | 電子物性工学特論 (332040) | 2 | 井上 光輝 服部 和雄 | | |
| 選択 | 電子材料工学特論 (332050) | 2 | 太田 昭男 中村 一男 内田 久男 福田 光男 | | |
| 選択 | デバイス工学特論 (332060) | 2 | 古川 泰男 石田 誠浩 若原 浩 | | |
| 選択 | 集積回路工学特論 (332070) | 2 | 米澤 宏司 朴津 康明 澤田 和明 | | |
| 選択 | 計算機システム工学特論 (332090) | 2 | 中島 浩一 市川 常康 小宮 宏久 | | |
| 選択 | ソフトウェア工学特論 (332100) | 2 | 磯河 定和 田合 宏久 | | |
| 選択 | データベースシステム特論 (332110) | 2 | 今年度開講せず | | |
| 選択 | 情報数理工学特論 (332120) | 2 | 増山 繁仁 永持 仁 | | |
| 選択 | 神経数理工学特論 (332130) | 2 | 今年度開講せず | | |
| 選択 | 人工知能工学特論 (332140) | 2 | 中川 聖一 北岡 英久 | | |
| 選択 | 画像生成工学特論 (332145) | 2 | 金栗 豊久 栗子 繁 | | |
| 選択 | パターン情報処理工学特論 (332150) | 2 | 山本 真雄 新三 恒彦 杉田 哲夫 金浦 彰靖 | | |
| 選択 | 情報データ処理工学特論 (332155) | 2 | 田野 雅樹 | | |
| 選択 | 脳・神経システム工学特論 (332160) | 2 | 堀川 順生 中内 茂樹 北崎 充晃 | | |
| 選択 | 制御システム工学特論 (332170) | 2 | 寺宇 一彦 野村 洋二 福直 博 | | |
| 選択 | システム解析学特論 (332180) | 2 | 清水 良好 石村 支明 村越 伸輝 樋野 支勵 | | |
| 選択 | 情報通信工学特論 (332190) | 2 | 梅村 恭司 後藤 信夫 | | |
| 選択 | 信号処理工学特論 (332200) | 2 | 田所 嘉昭 堀畠 聰千 和田 雄干 | | |
| 選択 | 通信方式工学特論 (332210) | 2 | 横山 光秀 上原 秀幸 | | |
| 選択 | 応用言語学特論 (332220) | 2 | 氏平 明子 加藤 三保子 村松 由起子 中原 泰之 | | |
| 選択 | 西洋自然思想特論 (332230) | 2 | 山本 淳二 小浜 隆芳 杉島 昭二 | | |
| 選択 | 西洋文化・文明特論 (332240) | 2 | 田村 真奈美 | | |
| 選択 | 言語学特論 (332250) | 2 | 伊藤 光彦 尾崎 一志 西村 政人 吉村 人子 | | |
| 選択 | 技術管理特論 (332260) | 2 | 藤原 孝男 渋澤 博幸 | | |
| 選択 | 西洋文化史特論 (332270) | 2 | 相京 邦宏 | | |

注) 開講年次は、指導教員に確認すること

環境・生命工学専攻

| 必修・選択の別 | 授業科目 (科目コード) | 単位数 | 担当教員名 | 教育研究分野 | 備考 |
|---------|-------------------------|-----|---------------------|--------|----|
| 必修 | 環境・生命工学輪講 (341000) | 3 | 各教員 | | |
| 選択 | 空気・温熱環境工学特論 (342010) | 2 | 本間松宏 日本博 | 環境計画学 | |
| 選択 | 都市環境計画特論 (342020) | 2 | 大貝彰 | | |
| 選択 | 建築・地区環境計画特論 (342030) | 2 | 渡邊昭彦 加藤彰一 | | |
| 選択 | 地域環境計画特論 (342040) | 2 | 廣畠裕雄 泉州田英雄 | | |
| 選択 | 環境経済学特論 (342050) | 2 | 山口誠 宮田讓 平松志樹 | | |
| 選択 | 水環境工学特論 (342060) | 2 | 青木伸一 井上信茂 加藤隆 | | |
| 選択 | 生態保全工学特論 (342070) | 2 | 北木田敏廣 曾祥秋 | | |
| 選択 | エネルギー環境工学特論 (342080) | 2 | 成瀬一郎 | | |
| 選択 | 燃焼環境工学特論 (342090) | 2 | 鷲田伸明 金熙濬 | | |
| 選択 | 環境生物機能工学特論 (342100) | 2 | 平石明 | 生命工学 | |
| 選択 | 生命分子工学特論 (342110) | 2 | 桂浴進司彦 浴俊彦 | | |
| 選択 | 細胞応用工学特論 (342120) | 2 | 水野彰人 辻秀人 | | |
| 選択 | 環境電磁界応用工学特論 (342130) | 2 | 田中三郎 | | |
| 選択 | 健康科学特論 (342140) | 2 | 安田好文 柳原大 | | |
| 選択 | 産業工コロジー工学特論 (342150) | 2 | 藤江幸一 後藤尚弘 | | |
| 選択 | 生命科学特論 (342170) | 2 | 菊池洋 | | |
| 選択 | 生命化学特論 (342180) | 2 | 田中照通 | | |

注) 開講年次は、指導教員に確認すること